

### 留学生のための

### 講義概要

#### 2025-2026

1. 日本語・日本事情科目 (留学生向け科目)

2. グローバル科目 (留学生・日本人学生向け科目)

(使用言語:日本語/日本語と英語/英語)

この小冊子は、留学生のための「日本語・日本事情科目」、「グローバル科目」の概要を説明しています。

- ・「日本語・日本事情科目」:日本語科目は日本語習得を目的とした言語ベースの科目です。 プレイスメントテストで受講するレベルを決めます。
- ・「グローバル科目」: 大分について学ぶ授業のほか、言語学、ソーシャルメディア、経済、 科学、ポピュラーカルチャー等の科目が、日本語、英語、日本語&英語で開講されます。

正規生は「日本語・日本事情科目」、「グローバル科目」を履修することができますが、日本語  $1 \sim 3$  を履修しても単位認定されませんので注意してください。学位取得のための単位に関する詳細については所属学部に必ず確認を行ってください。

## JAPANESE LANGUAGE AND JAPANESE STUDIES COURSES FOR INTERNATIONAL STUDENTS

### (2025-2026)

- 1. Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students
- 2. Global Studies Courses for International and Japanese Students (offered in either English, Japanese, or an integration of both)

This booklet provides an introduction to Japanese Language, Japanese Studies, and Global Studies courses.

- Japanese Language and Japanese Studies Courses: designed to improve Japanese language skills. Students will enroll in the appropriate level of Japanese language course based on the result of a placement exam.
- Global Studies Courses: develop international and global perspectives as well as an
  understanding of Oita's region-specific issues through a variety of courses in the
  areas of linguistics, social media, economics, applied engineering and science, and
  popular culture. Courses are offered in either Japanese, English, or an integration of
  both.

All Global Studies courses are available to all international students. However, please note that credits for Japanese courses 1~3 are not granted to international students seeking an undergraduate degree. If you are a degree-seeking student, you must contact your faculty regarding credit requirements for your degree.

## 2025年度前期(2025年4月~2025年8月)

### 1. 日本語・日本事情科目

1. 日本的"日本事情行日						
授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル (使用言語)	頁
日本語1文法	火2	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	1
日本語1会話	水1	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	2
日本語1総合	金2	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	3
日本語1読解	火4	2	国際教育推進センター	長池 一美	入門·初級	4
日本語2文法	火1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	5
日本語2会話	月2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	6
日本語2総合	水2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	7
日本語2読解	木1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	初級	8
日本語3文法	木2	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	初中級	9
日本語3会話	水2	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	初中級	10
日本語3読解Ⅱ	月1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初中級	11
日本語3作文Ⅱ	金1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	初中級	12
多読で学ぶ日本語	月4	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	中級~上級	13
日本語4文法Ⅱ	木2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	中級	14
日本語4スピーキング	木1	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	中級	15
日本語4読解Ⅱ	月2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	中級	16
日本語4作文Ⅱ	火1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	中級	17
日本語4応用Ⅱ	火2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	中級	18
日本語5スピーキング	木1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	上級	19
日本語5読解・作文Ⅱ	水1	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	上級	20
日本語5文法Ⅱ	月1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	上級	21
Independent Research Project I	金5	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	70
日本研究Ⅱ(日研生対象)	金5	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	中級~上級	22
大学院入学前予備教育日本語初級集中 (国費予備教育プログラム留学生対象)	-	-	国際教育推進センター	センター教員	初級	23
医学部学生補講(会話)	月1・2	-	国際教育推進センター	センター教員	初級~中級	_
	•	•				

# 2. グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	使用言語	頁
日本語文法分析	火2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	日本語	35
ビジネスジャパニーズ演習3(時事問題Ⅱ)	木2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	日本語	36
ビジネスジャパニーズ演習4(実践演習)	金2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	日本語	37
歩いて楽しい街:大分と別府	金3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語&英語	38
Japanese Popular Culture Studies	火3	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	87
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	金4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語&日本語	88
Introduction to Japanese History, Culture and Society	水3	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	89
日本の歴史・文化・社会入門	木3	2	国際教育推進センター	長池 一美	日本語	39
Gender and Sexuality	水4	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	英語	90
ジェンダーとセクシュアリティ	火3	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	日本語	40
日本語文法とディスコース	水3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語	41
Japanese Grammar and Discourse	月3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語	91
日本の英語教育	火3	2	教育学部	麻生 雄治	英語	42
The Politics and Economics of the EU	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	93
Ethnographic Study on Rural Japan	木4	2	経済学部	久保田 亮	英語	94
機械工学概論	水5	2	理工学部	福永 道彦	日本語&英語	43

# 2025年度前期(2025年4月~2025年8月)

		火	水	木	金
	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語2文法 (大坪)	日本語1会話 (菅沼)	日本語2読解 (戸坂)	日本語3作文Ⅱ (戸坂)
1 (9:00-10:30)	日本語3読解 II (大坪)	日本語4作文Ⅱ (戸坂)	日本語5読解·作文Ⅱ (坂井)	日本語4スピーキング (坂井)	
	日本語5文法Ⅱ (戸坂)			日本語5スピーキング (大坪)	
	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語1文法 (菅沼)	日本語2総合 (大坪)	日本語3文法 (坂井)	日本語1総合 (菅沼)
2 (10:40–12:10)	日本語2会話 (大坪)	日本語4応用 II (大坪)	日本語3会話 (坂井)	日本語4文法Ⅱ (大坪)	ビジネスジャパニーズ 演習4(実践演習) (戸坂)
	日本語4読解Ⅱ (戸坂)	日本語文法分析 (戸坂)		ビジネスジャパニーズ 演習3(時事問題Ⅱ) (戸坂)	
	Japanese Grammar and Discourse (南里)	Japanese Popular Culture Studies (長池)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (長池)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	歩いて楽しい街: 大分と別府 (南里)
3 (13:10–14:40)		ジェンダーとセクシュ アリティ (菅沼)	日本語文法とディス コース (南里)	日本の歴史・文化・社 会入門 (長池)	
		日本の英語教育 (麻生)			
4 (14.50.10.00)	多読で学ぶ日本語 (坂井)	日本語1読解 (長池)	Gender and Sexuality (菅沼)	Ethnographic Study on Rural Japan (久保田)	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies (南里)
(14:50-16:20)					
5			機械工学概論(福永)		日本研究 II (日研生) (坂井)
(16:30–18:00)					Independent Research Project I (長池外)

## 2025年度後期(2025年10月~2026年2月)

## 1. 日本語・日本事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル (使用言語)	頁
日本語1文法	火1	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	1
日本語1会話	水2	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	2
日本語1総合	金2	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	入門·初級	3
日本語1読解	木2	2	国際教育推進センター	長池 一美	入門·初級	24
日本語2文法	月2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	5
日本語2会話	火2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	6
日本語2総合	水1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初級	7
日本語2読解	木2	2	国際教育推進センター	深山 道助	初級	25
日本語3文法	火2	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	初中級	9
日本語3会話	水2	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	初中級	10
日本語3読解 I	木1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	初中級	26
日本語3作文 I	金2	2	国際教育推進センター	深山 道助	初中級	27
日本語4文法 I	月1	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	中級	28
日本語4スピーキング	水1	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	中級	15
日本語4読解 I	月2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	中級	29
日本語4作文 I	火1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	中級	30
日本語4応用 I	木2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	中級	31
日本語5スピーキング	水2	2	国際教育推進センター	大坪 美奈子	上級	19
日本語5読解·作文 I	火1	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	上級	32
日本語5文法 I	月1	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	上級	33
Independent Research Project II	金5	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	82
日本研究 I (日研生対象)	金5	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	中級	34
大学院入学前予備教育日本語初級集中 (国費予備教育プログラム留学生対象)	-	-	国際教育推進センター	センター教員	初級	23
医学部学生補講(会話)	月1. 2	-	国際教育推進センター	センター教員	初級~中級	_

# 2. グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	使用言語	頁
日本語表現技術	火2	2	国際教育推進センター	戸坂 弥寿美	日本語	44
日本語学 I	木2	2	国際教育推進センター	坂井 美恵子	日本語	45
ビジネスジャパニーズ演習1(時事問題 I)	木1	2	国際教育推進センター	深山 道助	日本語	46
ビジネスジャパニーズ演習2(キャリア形成)	金1	2	国際教育推進センター	深山 道助	日本語	47
Manga Studies	火3	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	100
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	火4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語&日本語	88
日本語文法とディスコース	金3	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語	41
Japanese Grammar and Discourse	金4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	英語	91
ソーシャルネットワークと大分からの発信 II	月4	2	国際教育推進センター	南里 敬三	日本語&英語	48
Introduction to Japanese History, Culture and Society	水4	2	国際教育推進センター	長池 一美	英語	89
Gender and Sexuality	水3	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	英語	90
ジェンダーとセクシュアリティ	火3	2	国際教育推進センター	菅沼 勝彦	日本語	40
Introduction to Global Studies	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	103
Economics of Globalization and Sustainability	金3	2	経済学部	柴田 茂樹	英語	104
Japanese Management and Sustainable Development Economics	木5	2	経済学部	于 松平	英語	105

## 2025年度後期(2025年10月~2026年2月)

	月	火	水	木	金
	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語1文法 (菅沼)	日本語2総合 (大坪)	日本語3読解 I (大坪)	ビジネスジャパニーズ 演習2(キャリア形成) (深山)
1 (9:00-10:30)	日本語4文法 I (大坪)	日本語5読解·作文 I (坂井)	日本語4スピーキング (坂井)	ビジネスジャパニーズ 演習1(時事問題1) (深山)	
	日本語5文法 I (戸坂)	日本語4作文 I (戸坂)			
	医学部学生補講 (会話) (GAIA教員)	日本語2会話 (大坪)	日本語1会話 (菅沼)	日本語2読解 (深山)	日本語1総合 (菅沼)
2	日本語2文法 (大坪)	日本語3文法 (坂井)	日本語3会話 (坂井)	日本語4応用 I (大坪)	日本語3作文I (深山)
(10:40-12:10)	日本語4読解 I (戸坂)	日本語表現技術 (戸坂)	日本語5スピーキング (大坪)	日本語学 I (坂井)	
				日本語1読解 (長池)	
3		Manga Studies (長池)	Gender and Sexuality (菅沼)	Introduction to Global Studies (DAY)	Economics of Globalization and Sustainability (柴田)
(13:10-14:40)		ジェンダーとセクシュア リティ (菅沼)			日本語文法とディス コース (南里)
4	ソーシャルネットワーク と大分からの発信 II (南里)	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies (南里)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (長池)		Japanese Grammar and Discourse (南里)
(14:50-16:20)					
5				Japanese Management and Sustainable Development (干)	Independent Research Project II (長池外)
(16:30–18:00)					日本研究 I (日研生) (坂井)

### Spring Semester, April 2025 - August 2025

#### 1. Japanese Language and Japanese Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.2	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	49
Japanese 1 Conversation	Wed.1	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	50
Japanese 1 Integrated Activities	Fri.2	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	51
Japanese 1 Reading	Tue.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	52
Japanese 2 Grammar	Tue.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	53
Japanese 2 Conversation	Mon.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	54
Japanese 2 Integrated Activities	Wed.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	55
Japanese 2 Reading	Thu.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Novice-High	56
Japanese 3 Grammar	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	57
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	58
Japanese 3 Reading II	Mon.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate-Low	59
Japanese 3 Writing II	Fri.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Intermediate-Low	60
Extensive Reading in Japanese	Mon.4	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate- Advanced	61
Japanese 4 Grammar II	Thu.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	62
Japanese 4 Speaking	Thu.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	63
Japanese 4 Reading II	Mon.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Intermediate	64
Japanese 4 Writing II	Tue.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Intermediate	65
Japanese 4 Contextual Japanese II	Tue.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	66
Japanese 5 Speaking	Thu.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Advanced	67
Japanese 5 Reading / Writing II	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	68
Japanese 5 Grammar II	Mon.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Advanced	69
Independent Research Project I	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	70
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students	_	_	GAIA	Instructors of GAIA	Novice	71
Japanese for Medical Students: Conversation	Mon.1-2	_	GAIA	Instructors of GAIA	Novice-Intermediate	_

#### 2. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Language	PAGE
Analysis of Japanese Grammar	Tue.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Japanese	83
Business Japanese Seminar 3 : Current affairs II	Thu.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Japanese	84
Business Japanese Seminar 4 : Job search	Fri.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Japanese	85
City Project: Oita and Beppu	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese&English	86
Japanese Popular Culture Studies	Tue.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	87
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	Fri.4	2	GAIA	NANRI Keizo	English&Japanese	88
Introduction to Japanese History, Culture and Society	Wed.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	89
日本の歴史・文化・社会入門	Thu.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Japanese	39
Gender and Sexuality	Wed.4	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	English	90
ジェンダーとセクシュアリティ	Tue.3	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Japanese	40
日本語文法とディスコース	Wed.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese	41
Japanese Grammar and Discourse	Mon.3	2	GAIA	NANRI Keizo	English	91
English Language Teaching in Japan	Tue.3	2	Education	ASO Yuji	English	92
The Politics and Economics of the EU	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	93
Ethnographic Study on Rural Japan	Thu.4	2	Economics	KUBOTA Ryo	English	94
Introduction of Mechanical Engineering	Wed.5	2	Science and Technology	FUKUNAGA Michihiko	Japanese&English	95

※ GAIA: Global Education and Intercultural Advancement Center

# **COURSE SCHEDULE (Spring Semester, April 2025 - August 2025)**

	MON	TUE	WED	THU	FRI
	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 2 Grammar (OTSUBO)	Japanese 1 Conversation (SUGANUMA)	Japanese 2 Reading (TOSAKA)	Japanese 3 Writing II (TOSAKA)
1 (9:00-10:30)	Japanese 3 ReadingII (OTSUBO)	Japanese 4 WritingII (TOSAKA)	Japanese 5 Reading / Writing II (SAKAI)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)	
	Japanese 5 Grammar II (TOSAKA)			Japanese 5 Speaking (OTSUBO)	
	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (SUGANUMA)	Japanese 2 Integrated Activities (OTSUBO)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Japanese 1 Integrated Activities (SUGANUMA)
2 (10:40-12:10)	Japanese 2 Conversation (OTSUBO)	Japanese 4 Contextual Japanese II (OTSUBO)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)	Japanese 4 Grammar II (OTSUBO)	Business Japanese Seminar 4 : Job search (TOSAKA)
	Japanese 4 Reading II (TOSAKA)	Analysis of Japanese Grammar (TOSAKA)		Business Japanese Seminar 3 : Current affairs II (TOSAKA)	
	Japanese Grammar and Discourse (NANRI)	Japanese Popular Culture Studies (NAGAIKE)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (NAGAIKE)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	City Project: Oita and Beppu (NANRI)
3 (13:10-14:40)		ジェンダーとセクシュアリティ (SUGANUMA)	日本語文法とディスコース (NANRI)	日本の歴史・文化 ・社会入門 (NAGAIKE)	
		English Language Teaching in Japan (ASO)			
4 (14:50-16:20)	Extensive Reading in Japanese (SAKAI)	Japanese 1 Reading (NAGAIKE)	Gender and Sexuality (SUGANUMA)	Ethnographic Study on Rural Japan (KUBOTA)	Japanese Aesthetics & Fashion Media Studies (NANRI)
5 (16:30-18:00)			Introduction of Mechanical Engineering (FUKUNAGA)		Independent Research Project I (NAGAIKE)

### Fall Semester, October 2025 - February 2026

#### 1. Japanese Language and Japanese Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.1	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	49
Japanese 1 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	50
Japanese 1 Integrated Activities	Fri.2	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Novice	51
Japanese 1 Reading	Thu.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	72
Japanese 2 Grammar	Mon.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	53
Japanese 2 Conversation	Tue.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	54
Japanese 2 Integrated Activities	Wed.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Novice-High	55
Japanese 2 Reading	Thu.2	2	GAIA	MIYAMA Michisuke	Novice-High	73
Japanese 3 Grammar	Tue.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	57
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	58
Japanese 3 Reading I	Thu.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate-Low	74
Japanese 3 Writing I	Fri.2	2	GAIA	MIYAMA Michisuke	Intermediate-Low	75
Japanese 4 Grammar I	Mon.1	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	76
Japanese 4 Speaking	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	63
Japanese 4 Reading I	Mon.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Intermediate	77
Japanese 4 Writing I	Tue.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Intermediate	78
Japanese 4 Contextual Japanese I	Thu.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Intermediate	79
Japanese 5 Speaking	Wed.2	2	GAIA	OTSUBO Minako	Advanced	67
Japanese 5 Reading / Writing I	Tue.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	80
Japanese 5 Grammar I	Mon.1	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Advanced	81
Independent Research Project II	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	82
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students	_	_	GAIA	Instructors of GAIA	Novice	71
Japanese for Medical Students: Conversation	Mon.1•2	-	GAIA	Instructors of GAIA	Novice- Intermediate	_

#### 2. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Language	PAGE
Japanese Presentation Skill	Tue.2	2	GAIA	TOSAKA Yasumi	Japanese	96
Japanese Linguistics I	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Japanese	97
Business Japanese Seminar 1 : Current affairs I	Thu.1	2	GAIA	MIYAMA Michisuke	Japanese	98
Business Japanese Seminar 2 : Career development	Fri.1	2	GAIA	MIYAMA Michisuke	Japanese	99
Manga Studies	Tue.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	100
Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies	Tue.4	2	GAIA	NANRI Keizo	English&Japanese	88
日本語文法とディスコース	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese	41
Japanese Grammar and Discourse	Fri.4	2	GAIA	NANRI Keizo	English	91
Social Networks and Introduction of Oita to the World II	Mon.4	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese&English	101
Introduction to Japanese History, Culture and Society	Wed.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	102
Gender and Sexuality	Wed.3	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	English	90
ジェンダーとセクシュアリティ	Tue.3	2	GAIA	SUGANUMA Katsuhiko	Japanese	40
Introduction to Global Studies	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	103
Economics of Globalization and Sustainability	Fri.3	2	Economics	SHIBATA Shigeki	English	104
Japanese Management and Sustainable Development	Thu.5	2	Economics	YU Songping	English	105

※ GAIA : Global Education and Intercultural Advancement Center

# **COURSE SCHEDULE (Fall Semester, October 2025 - February 2026)**

				Г	
	MON	TUE	WED	THU	FRI
	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (SUGANUMA)	Japanese 2 Integrated Activities (OTSUBO)	Japanese 3 Reading I (OTSUBO)	Business Japanese Seminar 2 : Career development (MIYAMA)
1 (9:00-10:30)	Japanese 4 Grammar I (OTSUBO)	Japanese 5 Reading / Writing I (SAKAI)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)	Business Japanese Seminar 1 : Current affairs I (MIYAMA)	
	Japanese 5 Grammar I (TOSAKA)	Japanese 4 Writing I (TOSAKA)			
	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 2 Conversation (OTSUBO)	Japanese 1 Conversation (SUGANUMA)	Japanese 2 Reading (MIYAMA)	Japanese 1 Integrated Activities (SUGANUMA)
2	Japanese 2 Grammar (OTSUBO)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)	Japanese 4 Contextual Japanese I (OTSUBO)	Japanese 3 Writing I (MIYAMA)
(10:40-12:10)	Japanese 4 Reading I (TOSAKA)	Japanese Presentation Skill (TOSAKA)	Japanese 5 Speaking (OTSUBO)	Japanese Linguistics I (SAKAI)	
				Japanese 1 Reading (NAGAIKE)	
3		Manga Studies (NAGAIKE)	Gender and Sexuality (SUGANUMA)	Introduction to Global Studies (DAY)	日本語文法と ディスコース (NANRI)
(13:10-14:40)		ジェンダーとセクシュアリティ (SUGANUMA)			Economics of Globalization and Sustainability (SHIBATA)
4 (14:50-16:20)	Social Networks and Introduction of Oita to the World II (NANRI)	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies (NANRI)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (NAGAIKE)		Japanese Grammar and Discourse (NANRI)
5 (16:30-18:00)				Japanese Management and Sustainable Development (YU)	Independent Research Project II (NAGAIKE)

1. 日本語・日本事情科目 (留学生向け科目)

授業科目名	日本語 1 文法			
担当教員	菅沼 勝彦	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜2限 後期:火曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 番 TEL: 097-554-6171			
授業のねらい	日本語基本文法及び言語機能の習得			
具体的な 到達目標	<ol> <li>ひらがな、カタカナの習得</li> <li>自己紹介、依頼、好き・嫌い、 法の習得</li> </ol>	、理由、欲求等	の言語機能を使うのに必要な文	
授業の内容	教科書に、	がな導入・簡単 カナ導入) アィビテマ図る。 で習得を図る。	いて基礎を学び、ワークブック 講義で用いられた配布物や板書	
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる新出語彙や 文法を用いた宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習 復習に3時間程度の学習時間が必要。			
教科書	初級日本語(げんき)I 第 3 版(ジャパンタイムズ社)ISBN: 978-4789017305			
参考書	1. 日本語基礎文法辞典(The Japan Times) 2. 日英辞典(研究社)			
成績評価の方法 及び評価割合	<ol> <li>1. 小テスト・宿題(30%)</li> <li>2. 中間テスト(30%)</li> <li>3. 期末テスト(40%) * 出席率に注意</li> </ol>			
備考・注意事項	出席率 70%以下 (講義 4 回欠席) の 席することが基礎日本語を習得するが		トが受けられない。全講義に出	

授業科目名	日本語 1 会話			
担当教員	菅沼 勝彦	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:水曜1限 後期:水曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 番 TEL: 097-554-6171			
授業のねらい	日本語の初歩的な会話能力の習得			
具体的な 到達目標	1. 限られた状況で適切な挨拶と 2. 自己紹介、依頼、好き・嫌い			
授業の内容	教科書に従って、文法、言語機能も取り入れる。 第1週:オリエンテーション・あいさつ表現を使った口頭練習 第2週:第1課の会話練習 第3週:第2課の会話練習 第5週:第4課の会話練習 第6週:第5課の会話練習 第7週:第6課の会話練習 第8週:中間テスト(文法、語彙、会話を含む。) 第9週:第7課の会話練習 第10週:第8課の会話練習 第11週:第9課の会話練習 第11週:第11課の会話練習 第12週:第11課の会話練習 第13週:第11課の会話練習 第14週:第12課の会話練習 第15週:全課の復習 【学生がより深く学べるための工夫】 講義時間内には real-life situation を基盤とした口頭練習を積み重ね、基礎会話力を培う。ワークブックの聴解練習や実践会話を通した宿題で基本の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載する。			
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる実践会話練習の宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習や復習に3時間程度の学習時間が必要。			
教科書	初級日本語(げんき)I 第 3 版(ジャパンタイムズ社)ISBN: 978-4789017305			
参考書	1. 日本語基礎文法辞典(The Japan Times) 2. 日英辞典(研究社)			
成績評価の方法 及び評価割合	1. 小テスト・宿題(30%) 2. 中間テスト(30%) 3. 期末テスト(40%)*出席率に注意			
備考・注意事項	出席率 70%以下(講義 4 回欠席) の 席することが基礎日本語を習得するが		トが受けられない。全講義に出	

授業科目名	日本語 1 総合		
担当教員	菅沼 勝彦	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期・後期:金曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 番 TEL: 097-554-6171		
授業のねらい	日本語基礎文法・言語機能の導入後、 うになる。	日常生活で総	合的に活用することができるよ
具体的な 到達目標	基礎的な言語機能、限られた語彙やな好き・嫌い、理由、欲求等を表現する	· · · · · · · - — ·	
授業の内容	日本語 1 で学習した文法・言語機能 第 1 週:第 1 課の文法会話等を含めた 第 3 週:第 2 課の文法会話等を含めた 第 3 週:第 3 週:第 5 週:第 5 課の文法会話等等を含めた 第 5 週:第 5 課の文法会話等等を含めた 第 6 週:第 6 課の文法会話等等を含めた 第 9 週:第 6 課の文法会話等等を含めた 第 9 週:第 7 課の文法会話話等 8 8 3 課の文法会話話等 8 9 週:第 10 課の文法会話話等 8 11 週:第 10 課の文法会話話等 12 週:第 11 週:第 12 週:第 14 週:第 15 週:第 15 週:全課の復習	がだだだだだらだががんんんとなるなりなりなりないではだだだだだだだだだだが、・練練練練練練練をスススススをスススススススススススススススススススススススス	たんな挨拶の習得) (カタカナ練習を含む。)
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブック等で復習。それ以外に与えられる宿題 も次週までに完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習や復習 に3時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語(げんき) I 第 3 版(ジャパンタイムズ社)ISBN: 978-4789017305		
参考書	1. 日本語基礎文法辞典(The Japan Times) 2. 日英辞典(研究社)		
成績評価の方法 及び評価割合	1. 小テスト・宿題(30%) 2. 中間テスト(30%) 3. 期末テスト(40%)*出席率	に注意	
備考・注意事項	出席率 70%以下(講義 4 回欠席)の 出席することが基礎日本語を習得する		

授業科目名	日本語 1 読解			
担当教員	長池 一美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日·時限	前期:火曜4限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 4 番 TEL: 097-554-7953 Email: nagaike	@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	ひらがなとカタカナを習得させ、毎3 使った基礎的文章の読解力をつける。			
具体的な 到達目標	1. ひらがなとカタカナの読み書きの 2. 毎週学習する漢字と熟語が読め書 3. 簡単な和文(伝言、手紙、物語等	iけること。	た短文が書けること。	
授業の内容	原則として日本語1の教科書「読み書き編」に従って毎週1課ずつ進む。第1週:第1課はひらがなの読み書きができるように集中的練習を行う。第2週:第2課はカタカナの読み書きができるように集中的練習を行う。第3週:第2課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第4週:第3課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第5週:第4課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第6週:第5課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第7週:第6課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第9週:第3課から8課までの漢字の復習と既習漢字使った文章の読解練習。第9週:第3課から8課までの漢字の復習と既習漢字使った文章の読解練習。第10週:第8課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第11週:第9課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第11週:第9課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第12週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。第15週:全課の漢字の複習と既習漢字を使った文章の読解練習。第15週:全課の漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習。			
時間外学習	毎週の新出漢字の習得には時間外の練習が不可欠なので、毎日読み書きの練習をすること。			
教科書	初級日本語(げんき)I 第3版(ジャパン・タイムズ社)(初版の教科書は使用できないので、必ず第3版の教科書を購入して下さい。)			
参考書	日英辞典(研究社)			
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト(毎週)20% 宿題(毎週)20% 中間試験 20% 期末テスト 40% 但し、出席率 70%以下の場合は期末テストが受けられない。			
備考・注意事項	漢字の習得には毎週授業に出て必ず ある。	その週に学習し		

授業科目名	日本語 2 文法			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜1限 後期:月曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追って観的表現を学び、過去、現在の出来 き手との社会関係を配慮した表現が近	事にコメントが	できるようになる。また、聞	
具体的な 到達目標	一文中での二つの出来事の前後関係の明示方法、意志形を使った予定の報告の仕 方、受け身、使役表現を使った出来事の説明方法、敬語を使った丁寧な話し方を 習得し、初級レベルの文法習得を完了する。			
授業の内容	第1-2週:テ形、普通体、「~んです」表現の復習 第2週:可能形を使って自分ができることを説明する。 第3週:授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す。 第4週:連体修飾節を使ってモノについての詳しい説明を行う。 第5-6週:授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す。 第6-7週:人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第8-9週:復習 第10週:他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める。 第11週:尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第12週:謙譲語1、謙譲語2を学び、へりくだった表現ができるようになる。 第13週:間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す。 第14-15週:使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する。 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明→パターン練習→会話練習」。文法の習得は会話練習を			
時間外学習	予習・復習それぞれに2時間の学習時間が必要			
教科書	初級日本語げんき2 (ジャパンタイムズ出版)、 初級日本語げんきワークブック2 (ジャパンタイムズ出版)			
参考書	日本語文法辞典(初級編)、日本語文法辞典(中級編)(ジャパンタイムズ出版)			
成績評価の方法 及び評価割合	単語クイズ(10%)、出席、態度(10%)、宿題(10%)、 レッスンテスト(20%)、中間テスト(20%)、期末テスト(30%)			
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本語2会話、日本語2総合と一緒に受講しなければならない。			

授業科目名	日本語 2 会話			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:月曜2限 後期:火曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主 観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントが出来るようになる。また、聞 き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。			
具体的な 到達目標	自分のスケジュールの説明、不可抗力で発生した出来事の報告、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことの報告などを取り交ぜて会話が対話形式で最低8分間できるようになる。また、その際、敬語の基本的使用ができるようになる。			
授業の内容	第1-2週:テ形、普通体、「~んです」表現の復習 第2週:可能形を使って自分ができることを説明する。 第3週:授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す。 第4週:連体修飾節を使ってモノについての詳しい説明を行う。 第5-6週:授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す。 第6-7週:人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。 「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第8-9週:復習 第10週:他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める。 第11週:尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード 化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第12週:謙譲語1、謙譲語2を学び、へりくだった表現ができるようになる。 第13週:間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す。 第14-15週:使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する。 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明⇒パターン練習⇒会話練習」。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。			
時間外学習	予習・復習それぞれに2時間程度の学習時間が必要			
教科書	初級日本語げんき 2 (ジャパンタイムズ出版)、 初級日本語げんきワークブック 2 (ジャパンタイムズ出版)			
参考書	日本語文法辞典(初級編)、日本語文法辞典(中級編)(ジャパンタイムズ出版)			
成績評価の方法 及び評価割合	単語クイズ(10%)、出席、態度(10%)、宿題(10%)、 レッスンテスト(20%)、中間テスト(20%)、期末テスト(30%)			
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は語2総合と一緒に受講しなければなら		この科目は日本語2文法、日本	

授業科目名	日本語 2 総合			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:水曜2限 後期:水曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	日常の体験を、時系列的に順を追っる観的表現を学び、過去、現在の出来 き手との社会関係を配慮した表現が過	事にコメントが	できるようになる。また、聞	
具体的な 到達目標	自分のスケジュール、不可抗力で発生した出来事、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことのなどのトピックをテーマにした会話文が読めて理解できるようになる。自分の将来の計画について600 字程度の作文が辞書なしで書けるようになる。			
授業の内容	第1-2週:テ形、普通体、「~んです」表現の復習 第2週:可能形を使って自分ができることを説明する。 第3週:授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す。 第4週:連体修飾節を使って行為のやりもらい経験を話す。 第5-6週:授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す。 第6-7週:人から聞いた話を、伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」 「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第8-9週:復習 第10週:他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める。 第11週:尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード 化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第12週:謙譲語1、謙譲語2を学び、へりくだった表現ができるようになる。 第13週:間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す。 第14-15週:使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する。 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明⇒パターン練習⇒会話練習」。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。			
時間外学習	予習・復習それぞれに2時間程度の学習時間が必要			
教科書	初級日本語げんき2 (ジャパンタイムズ出版)、 初級日本語げんきワークブック2 (ジャパンタイムズ出版)			
参考書	日本語文法辞典(初級編)、日本語文法辞典(中級編)(ジャパンタイムズ出版)			
成績評価の方法 及び評価割合	単語クイズ(10%)、出席、態度(10%)、宿題(10%)、 レッスンテスト(20%)、中間テスト(20%)、期末テスト(30%)			
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は 語2文法と一緒に受講しなければなら		この科目は日本語2会話、日本	

授業科目名	日本語 2 読解			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	初級前半修了程度の学習者の読解力の	の向上のための	新たな語彙、表現、漢字の習得	
具体的な 到達目標	約 300 の基本漢字の書き方と読みた 文章の読解 ・身近な出来事について		いら派生する語彙の習得 ・短い	
授業の内容	1. オリエスの復習 2. 初級の復習 (2) 3. 日本のおもしろい経験(1) 4. 日本のおもしろい経験(2) 5. 悩ががらいるがいがいる。 私ががらいる。 まんががいいないでは、 10. 手紙の回り、 10. 手紙の回り、 10. 手紙の回り、 10. 手紙の回り、 13. では、 14. では、 14. では、 15. 「関係では、 16. 関係では、 16. 関係には、 1	   字のテストを行		
時間外学習	課題や自主学習に週4時間取り組む必要がある。 予習・復習は必須。予習をしている前提で授業を進める。			
教科書	『初級日本語 げんきⅡ 第3版』(The Japan Times)			
参考書	『新漢英字典』(研究社) 『日本語基本文法辞典』 (The Japan Times)			
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加(10%)、宿題(20%)、小テスト(10%)、 中間・期末テスト(60%)			
備考・注意事項	出席率が70%を割る場合は、期末テストが受けられない。 本授業計画は受講者の理解度・習熟度に応じて、変更される可能性がある。			

授業科目名	日本語 3 文法			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜2限 後期:火曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した。 た基本的な文法を、話題や場面に応 日常会話を支障なく行うために必要 る。	じて適切に運用	できるようになること、また、	
具体的な 到達目標	<ol> <li>日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。</li> <li>話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。</li> <li>日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。</li> <li>さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。</li> </ol>			
授業の内容	以下のトピックについて流暢に話が 文型、語彙、表現を学ぶ。 1. 友人やのころの思い出 3. 性格 4. 状況の紹介 5. 自国を旅行する友だちへのアドバス 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国本のの出い数 10. 日本の希望や印象 11. 将来の希望や即象 11. 将来の希望や界 12. 30 年後の世界 13. 食と健康 14. スト者言葉 【学生がより深く学べるための工夫】 で取り入れる。	バイス		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週2時間程度の時間外学習を課す。			
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese	』(凡人社)		
参考書	『日本語文法辞典[中級編]』 (The Japan Times)			
成績評価の方法 及び評価割合	レッスンテスト (30%)、期末テスト (30%)、単語クイズ (10%)、宿題 (10%)、 授業参加・態度など (20%) 出席率が 70%以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。			
備考・注意事項	日本語2修了、もしくはプレースメンれることを履修の条件とする。 日本語3文法と日本語3会話は同時			

授業科目名	日本語 3 会話			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期・後期:水曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した。 た基本的な文法を、話題や場面に応り 日常会話を支障なく行うために必要 る。	じて適切に運用	できるようになること、また、	
具体的な 到達目標	<ol> <li>日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。</li> <li>話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。</li> <li>日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。</li> <li>さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。</li> </ol>			
授業の内容	以下のトピックについて流暢に話がて 文型、語彙、表現を学ぶ。 1. 友代のころの思い出 3. 性格 4. 状況の説明 5. 自国を旅行する友だちへのアドバ 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国民性の比較 10. 日本の希望や部 11. 将来の希望や明 11. 将来の希望や界 12. 3 0 年後の世界 13. 食と健康 14. ストレス解消法 15. 若者言葉 【学生がより深く学べるための工夫】 で取り入れる。	バイス		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週	週2時間程度の	時間外学習を課す。	
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese,	』(凡人社)		
参考書	『日本語文法辞典[中級編]』 (The J	apan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	レッスンテスト (30%)、期末テスト (30%)、単語クイズ (10%)、宿題 (10%)、 授業参加・態度など (20%) 出席率が 70%以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。			
備考・注意事項	日本語2修了、もしくはプレースメンれることを履修の条件とする。 日本語3文法と日本語3会話は同時			

授業科目名	日本語 3 読解Ⅱ			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:月曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	   身近な日本についての初中級レベル(	の短い文章を読	み、理解できるようになること	
具体的な 到達目標	・文章の構成を理解する。 ・文章の中から必要な情報をすばやく探す。 ・接続詞や副詞の適切な使い方を学ぶ。 ・日本の生活や文化について学ぶ。			
授業の内容	<ol> <li>が</li> <li>が</li> <li>が</li> <li>お</li> <li>よ</li> <li>よ</li></ol>		<b>ర</b> ం	
時間外学習	復習や小テストの準備などの時間外学習を必要とする。			
教科書	毎回、教材を配布する。			
参考書	参考書は指定しない。			
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、小テスト等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)			
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。授業は日本語で行う。 出席率が70%を割った場合は期末テストを受ける資格がない。			

授業科目名	日本語 3 作文Ⅱ			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:金曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を使程度の作文が書けるようになる。	見用し、身近な	トピックについて 600~700 字	
具体的な 到達目標	・段落を意識した作文が書けるようし ・文の構成を理解し接続詞や副詞をす ・原稿用紙の使用の仕方を学ぶ。		文章を書く。	
授業の内容	1. ガイダンス 2. 短い文を作る お願いする 3. メールの書き方 4. 許可を求める 5. 断る 6. 手紙の書き方 お礼 7. 復習 8. 中間試験 9. 国の紹介 10. 私の大切な○○ 11. 昔と今 12. 将来の夢 13. リサーチ ① 14. リサーチ ② 15. 復習 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする。			
時間外学習	授業後の復習 発表の練習			
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する	<b>3</b> .		
参考書	授業で提示する。			
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度·宿題(10%)、課題(20%)、発表(15%)、試験(55%)			
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。 出席率が 70%以下の場合は期末試験を受けられない。			

授業科目名	多読で学ぶ日本語			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日•時限	前期:月曜4限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	多読とは、辞書を使わないで読めるやさしい本を、たくさん、楽しく、速く読むことです。語学力を伸ばすために効果的な外国語学習法です。この授業では、やさしく短い読み物を読むことから始め、少しずつ長さと日本語のレベルを上げていくことで、日本語で書かれた本をより速く、より多く読めるようになるだけでなく、話す力、書く力も伸ばすことを目指しています。			
具体的な 到達目標	・日本語で書かれた本や多読用図書を、楽しみながら多く読む。 ・本を読む習慣を身に付け、日本語で読むことに対する抵抗をなくす。 ・日本語を速く読む力、読解力、語彙力を身に付ける。 ・話す力と書く力を含む日本語能力を向上させる。			
授業の内容				
時間外学習	多読を行う。			
教科書	『レベル別日本語多読ライブラリー』『日本語多読ブックス』『げんき多読ブックス』などの多読用図書は教員が用意する。			
参考書	なし			
成績評価の方法 及び評価割合	本の冊数(20%)、読書記録表の内容(20%)、本の紹介(10%)、 物語を書く(15%)、おすすめの本の発表(25%)、授業態度(10%)			
備考・注意事項	プレイスメントテストでレベル3~6と判定された学生を対象とする。			

授業科目名	日本語4文法Ⅱ			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	1 年を通じて文法 I と文法 II を履修す 正しく使えるようにする。	けることで、中紀	級レベル文法の理解を深め、	
具体的な 到達目標	名詞修飾や副詞・接続詞などを理解し	し、適切に使え	るようになることを目指す。	
授業の内容	日本語 4 文法 I と同じ教科書を使い、この授業では 7 課から 16 課までを学ぶ。 1. ガイダンス 2. 複文構造 3. 名詞修飾 4. 複文を作る言葉 1 5. 複文を作る言葉 2 6. 複文を作る言葉 3 7. 複文を作る言葉 3 8. 中間試験 9. 否定の言い方 10. わたしからの発信 1 11. わたしからの発信 1 11. わたしからの発信 2 12. わたしからの発信 2 13. 決まった使い方の副詞① 14. 決まった使い方の副詞②/接続の言葉① 15. 接続の言葉② 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 習った文法を使って、その場で実際に例文を作ってみる時間を設ける。			
時間外学習	宿題・復習など毎週2時間程度の時間外学習を必要とする。			
教科書	『中級日本語文法要点整理ポイント 20 』 スリーエーネットワーク社			
参考書	   『日本語基本文法辞典』『日本語文法 	辞典(中級編)』	ジャパンタイムズ	
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)			
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイスメントテストでレベル4と 判定された者を対象とする。少なくとも漢字500字以上の知識が必要である。 授業は日本語でおこなう。 出席率が70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がない。			

授業科目名	日本語4スピーキング			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜1限 後期:水曜1限	
担当教員研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	oita-u.ac.jp		
授業のねらい	中級後半レベルの学習者を対象に、大学生活をおくる上で必要となる日常の様々な場面に対応できるスピーキング能力と聴解力の向上を目指す。また、自分たちが暮らしている大分県の情報を集め、町に出て取材をすることにより、大分県の特色や魅力を探り、日本について理解を深める。			
具体的な 到達目標	<ul> <li>1. クラスメートや日本人との日本語によるコミュニケーションを通じ、適切な表現を使用し、一般的な話題について正確かつ活発に会話ができる。</li> <li>2. 総合的な日本語の運用能力を高め、ある程度まとまった量の話ができる。</li> <li>3. フォーマルな場面とインフォーマルな場面での表現の使い分けを習得する。</li> <li>4. 自然なスピードで話される様々な場面の会話を聞き取り、内容を説明できる。</li> </ul>			
授業の内容	前半は一次のでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	東習を発すれて練タリと準・ しょう が知、話習ビプ撮備提 バンス でいまる アード アード アード アード アール アー アール アール アール アール アール アール アール アール	・一マを決め、日本人にインタ。その上で、テーマとした場でえる。調査結果をビデオにままめ けて話し合い い、各学生が自分の弱点に気付。	
時間外学習	聴解練習、日本人へのインタビュー調査、実地調査準備、発表の準備など毎週2時間程度の時間外学習を課す。			
教科書	『新版 聞いて覚える話し方 日本語生中継 中~上級』くろしお出版			
参考書	『にほんご会話上手!』ask 出版			
成績評価の方法 及び評価割合	宿題(10%)、単語クイズ(10%)、中間試験(30%)、口頭試験(10%)、 口頭発表(15%)、プロジェクト(15%)、クラス参加・態度など(10%)			
備考・注意事項	日本語 3 修了、またはプレースメントることを履修の条件とする。 出席率が 70%以下の場合は、最終プ	-		

授業科目名	日本語 4 読解 Ⅱ			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:月曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	この授業のねらいは、論説文や小説、エッセイ、俳句など、さまざまなジャンルの 文章を読みながら、中上級レベルの語彙や表現を習得し、読解力を身に付けること である。これらの読解を通して、日本の社会や文化への理解を深めるだけではなく、 それぞれのテーマについて自ら考える力を養う。			
具体的な 到達目標	<ul><li>1. 多様なジャンルのまとまった文章を読むことができる。</li><li>2. 文章を読んで、未知の情報や筆者の考えを正確に理解することができる。</li><li>3. 文章を読んで得た知識を身近なこととしてとらえ、考えを深めることができる。</li></ul>			
授業の内容	<ol> <li>オリエンテーション/論説文①</li> <li>エッセイ①</li> <li>論説文②</li> <li>エッセイ②</li> <li>エッセイ③</li> <li>論説文③-1</li> <li>論説文③-2</li> <li>試験 I</li> <li>・詩</li> <li>・小説①</li> <li>・論説文④-1</li> <li>論説文④-2</li> <li>小説②</li> <li>エッセイ④</li> <li>試験 I</li> </ol> 【学生がより深く学ぶための工夫】 海外でも人気がある作家(村上春樹、吉本ばなな、大江健三郎など)の作品を読む。内容理解だけではなく、本文で提起されている問題やテーマについて、話した			
時間外学習	り、調べたりすることで、自身の問題として考え、自分なりの見方を持つ。 毎週、予習と課題を行う。 単語クイズのための復習をする。			
教科書	西原純子他、『中上級学習者向け日本語教材 日本文化を読む』アルク、2012			
参考書	なし			
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (35%)、試験 II (35%)、課題 (15%)、単語クイズ (15%)			
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末テストを受ける資格はない。			

授業科目名	日本語4作文Ⅱ			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	この授業のねらいは、さまざまなテー りやすく、詳細に文章が書けるよう! 学び、アカデミック・ライティングの	こなることであ		
具体的な 到達目標	1. テーマに関連した語彙や表現を記 2. やや複雑なことでも、意見や情報 3. 800 字以上の論理的なレポートが	報を伝えること	ができる。	
授業の内容	1. オリエンテーション/はじめに 2. 自己紹介 3. 旅行(書き言葉で書く) 4. 異文化理解 5. 子供の遊び 6. 建築物 7. 仕事 8. ピアリーディング① 9. 論理的に書く 10. 引用する 11. グラフを読む&書く 12. 社会問題 13. 適切な文を書く 14. アカデミックなレポートの基礎知識 15. ピアリーディング②/総括 【学生がより深く学ぶための工夫】 学生が書きたくなるようなテーマを選んでいる。ディスカッションし、楽しみながら書くことで、ライティングへの苦手意識を克服する。また、ピアリーディングを			
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。			
教科書	教材配布			
参考書	藤尾喜代子、『大学で学ぶための日本語ライティング』ジャパンタイムズ、2006 杉浦千里、『書くことを楽しむ 中級作文』凡人社、2020 伊集院郁子『日本語を学ぶ人のためのアカデミック・ライティング講座』ASK、2020			
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート (30%)、期末レポート (30%)、各課題 (40%)			
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末レポートを提出する資格はない。			

授業科目名	日本語4応用Ⅱ			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜 2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で習得した文法、語彙、そして会話などの知識や能力を実践的な文脈に応用させることを目的としている。また様々なトピックについて日本語で議論や分析を行うことでそのテーマの理解を深めることを目指す。			
具体的な 到達目標	・日本語で簡単なディスカッションが行えるようになる。 ・日本語で自己表現が行えるようになる。 ・日本の文化や社会についての理解を深める。			
授業の内容	1. ガイダンス 2. メディアから学ぶ日本語① 3. メディアから学ぶ日本語② 4. メディアから学ぶ日本語③ 5. メディアから学ぶ日本語⑤ 6. メディアから学ぶ日本語⑥ 8. メディアから学ぶ日本語⑥ 8. メディアから学ぶ日本語⑦ 9. メディアから学ぶ日本語⑧ 10. プロジェクトの企画 11. プロジェクトの企画 12. プロジェクト発表の準備 13. プロジェクト発表・感想文 14. プロジェクト発表・感想文 15. プロジェクト発表・感想文 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 メディアの日本語から言葉の使われ方・慣用表現などを学び、学習者同士の簡単なディスカッションをおこなう。			
時間外学習	復習・課題など、毎週2時間程度の雪	学習を必要とす	る。	
教科書	毎回、教材を配布する。			
参考書	参考書は指定しない。			
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加 (20%)、プロジェクト (30%)、 その他課題 (20%)、期末試験 (30%)			
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル(レベル4程度)の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧める。 出席率が70%に満たない場合、期末試験を受ける資格はない。			

授業科目名	日本語 5 スピーキング			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜1限 後期:水曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	この授業では、上級レベルの学習者に内容の話ができるように、日本語会員	-		
具体的な 到達目標	・複数の段落で構成されたまとまりのある話が3分間程度できるようになる。 ・詳しい描写や複雑なことの説明、できごとの説明などができるようになる。 ・失礼にならない話し方や話題に適した話し方ができるようになる。 ・異なる考えを認めながら、よい話し手・聞き手として討論できるようになる。			
授業の内容	1. ガイダンス 2. 自己紹介で好印象を与えよう 3. きっかけを語ろう 4. 失くした体験を話そう 5. 町の様子を話そう 6. 動きの順序を説明しよう① 7. 動きの順序を説明しよう② 8. 中間試験 9. 趣味についてそのおもしろさを伝えよう 10. 言いかえて説明しよう 11. 比べて良さを伝えよう① 12. 比べて良さを伝えよう② 13. 健康について話そう 14. 与えられたテーマについて討論しよう① 15. 与えられたテーマについて討論しよう② 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 ペアやグループで会話する時間を設ける。 他の人の話し方を観察することで客観的に学ぶことができる。			
時間外学習	単語やフレーズの復習、宿題など毎週2時間程度の時間外学習を必要とする。			
教科書	その都度教材を配布する。			
参考書	『日本語上級話者への道』スリーエ-	ーネットワーク	社	
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度等(30%)、中間試験(30%)、期末試験(40%)			
備考・注意事項	この授業は日本語上級レベルの学習者を対象とする。日本語 4 スピーキング修了 (成績 B 以上)、あるいはプレイスメントテストでレベル 5 以上と判定されていることが必要である。 出席率が 70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がない。 第 1 回目の授業で受講者を決めるため、履修希望者は必ず出席すること。			

	T			
授業科目名	日本語 5 読解・作文Ⅱ			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:水曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	⊚oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は上級レベルの学習者を対象にし、日本語5読解・作文Iでは扱わなかった 分野の論説文を読むことにより、専門分野の論文を読むための読解力の基礎をさら に充実させることを目指す。また、日本語5読解・作文Iとは異なった作家の短編小 説を読み、現代の日本文学に親しみ、論説文とは違う分野の語彙や表現の習得を目 指す。さらに、論理的な文章が書けるようになることを目指す。			
具体的な 到達目標	1. 1200字程度の短い論説文から2000字程度の論説文へと段階的にすすみ、内容を 把握し、語彙や表現を増やす。     2. 論文を読むための基礎となる文章の論理構造について学び、大意を把握し、必 要な情報を読み取る。     3. 日本語で書かれた小説の内容を理解する。     4. 段落の構成について学び、文章の要約や意見文が書ける。			
授業の内容	<ul> <li>Ⅰ.読解:各週、以下の構造に注目し、現在の日本社会で問題となっている話題に関した論説文を読む。</li> <li>1. 書き言葉の特徴</li> <li>2. 段落内の構造</li> <li>3. アウトラインと複文</li> <li>4. 文の構造と論の展開方法 1</li> <li>5. 論の展開方法2(文末表現)</li> <li>6. 要約</li> <li>7. 試験1</li> <li>Ⅱ.小説:各週、現代の短編小説を読み、内容を理解し、言葉や表現について学ぶ。8-11. 小説</li> <li>12. 試験 2</li> <li>Ⅲ.作文:各週、以下の文章の組み立て方や表現を習得し、作文を書く。13. 作文の基本(文体と表現)と原稿用紙の使い方14. 状況説明と意見の述べ方15. 文章の要約のしかた</li> <li>【学生がより深く学べるための工夫】作文はピアリーディングによるフィードバックを行い、学生同士で学び合いができるようにする。ピアと教師両者によるフィードバックを参考にして書き直し、再提</li> </ul>			
時間外学習	出する。   本文の予習・復習、作文等毎週2時間程度時間外学習を課す。			
教科書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語3 論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。			
参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本	本語 4 論文作	成編』アルク	
成績評価の方法 及び評価割合	試験 1(30%)、試験 2(30%)、作文(20%)、宿題(10%)、 クラス参加・態度など(10%)			
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントテストの結果による。 日本語5読解・作文Iを受講している必要はない。 出席率が70%以下の場合は期末試験を受ける資格がない。			

授業科目名	日本語 5 文法 II			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:月曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	日常会話の多様な表現、あるいは大学 身に付けるため、中・上級表現文型と 運用する力をつける。			
具体的な 到達目標	1. 上級レベル (N2~N1) の日本語 2. 類似表現の意味や使い方の違いる 3. 類似表現の違いを理解したうえ	を理解できる。		
授業の内容	<ol> <li>オリエンテーション/比較</li> <li>状況</li> <li>例示</li> <li>感情</li> <li>基準</li> <li>立場</li> <li>結末</li> <li>試験 I</li> <li>可能・難易</li> <li>意志</li> <li>判断</li> <li>否定</li> <li>反復</li> <li>その他</li> <li>試験 I</li> <li>「学生がより深く学ぶための工夫】</li> <li>学習した文型を使って短文を作り、学生が互いに添削できるように板書する。誤用があれば、クラス全員で考える。それによって、日本語に対する鋭い言語感覚を身</li> </ol>			
時間外学習	に付ける。 予習と復習を行う。 毎週の課題を提出する。			
教科書	教材配布			
参考書	友松悦子、『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』アルク、2010 大阪 YMCA、『くらべてわかる 日本語表現文型辞典』ジェイ・リサ-チ出版、2008 アスク出版編集部、『生きた例文で学ぶ 日本語表現文型辞典』アスク出版、2008			
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (40%)、試験 II (40%)、課題	題(20%)		
備考・注意事項	この授業は上級レベルの学習者を対象とし、日本語能力試験N2と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。 出席率が70%に満たない場合は、期末試験を受ける資格はない。			

授業科目名	日本研究Ⅱ		
担当教員	坂井美恵子・南里敬三	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期:金曜5限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	坂井:教養教育棟3階7番 TEL:09 南里:教養教育棟3階5番 TEL:09		Email: msakai@oita-u.ac.jp Email: keizo-nanri@oita-u.ac.jp
授業のねらい	このコースは日本語日本文化研修生活とを目的とする。	を対象としてお	り、(日本語で)論文を書く
具体的な 到達目標	自分の立てた仮説に基づいて調査を行 の論文を完成させる。	テい、分析と考	察を行う。最終的に1万字程度
授業の内容	第1週~第5週:調査の実施と仮説の微調整  【学生がより深く学べるための工夫】 調査を行い、データを収集する。また、仮説については抽象的仮説から具体的表現を使用した仮説へと移行していく。各受講者に学習支援チューターが付き、一対一で日本語のチェックやアドバイスを得ることができる。 第6週~第10週:データ分析と考察  【学生がより深く学べるための工夫】 集めたデータの中には実際に仮説の検証に必要なものとそうでないものがある。自分の立てた仮説を理解してデータを分析し、考察を行う。調査結果の記述については既にテンプレートがあるので、それに沿って書くことができる。  第11週~第15 週:論文完成  【学生がより深く学べるための工夫】 論文のフォーマットに従い序論とまとめの章を書く。教員のアドバイスに基づき修正を行い、論文を完成させる。		
時間外学習	2時間の予習と1時間の復習が必要である。		
教科書	なし		
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要な参考文献リストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	論文(100%)		
備考・注意事項	対象は日本語日本文化研修生のみでる力に合わせて設定する。	ある。論文のテ	一マは受講生の興味や日本語

授業科目名	大学院入学前予備教育日本語初級集中			
担当教員	国際教育推進センター教員	所属部局	国際教育推進センター	
単位	未定	学期 曜日・時限	未定	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階			
授業のねらい	このコースは、国費留学生を対象とした初級集中日本語コースで、話す、聞く、書く、読む、の四技能を学びます。文法説明は英語で行われるため、簡単な英語力が必要となります。			
具体的な 到達目標	<ul><li>基礎的な日常会話ができるようにないのでは、カタカナ、基本漢字の記述を</li><li>短い文章が読め、書けるようになる</li></ul>	売み書きができ	るようになる。	
授業の内容	・短い又草か読め、書けるようになる。  以下の場面で必要となる文法、表現、語彙を学ぶ。  1. 挨拶  2. 自己紹介  3. 数・時間を表す  4. 買い物  5. 予定を話す  6. 約束をする  7. 誘う  8. 場所を説明する  9. 過去のことを話す  10. 好き嫌いを表す  11. 理由を話す  12. 依頼する  13. 許可する  14. 禁止する  15. 家族紹介  【学生がより深く学べるための工夫】 学生は授業で扱う文法について予め文法解説を読み、基礎知識を得た上で、音声教材を利用して口頭練習を行ってから授業に参加する。授業内では実践に近い状況を設定し、教師対学生、学生対学生による会話練習を行う。			
時間外学習	   各課の予習・復習など毎週2時間程別	度の時間外学習	を課す。	
教科書	『初級日本語げんき I』(The Japan Times) 『初級日本語げんき I ワークブック』(The Japan Times)			
参考書	『日本語文法辞典』 (The Japan Tir	mes)		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト・宿題 (30%)、会話テスト (30%)、期末テスト (40%)			
備考・注意事項	大学院入学前予備教育の国費留学生を対象とする。			

授業科目名	日本語 1 読解			
担当教員	長池 一美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:木曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 4 番 TEL: 097-554-7953 Email: nag	aike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	ひらがなとカタカナを習得させ、 使った基礎的文章の読解力をつい。		出漢字(計 145)の習得とそれを である。	
具体的な 到達目標	1. ひらがなとカタカナの読み書 2. 毎週学習する漢字と熟語が読 3. 簡単な和文(伝言、手紙、物	め書けること	た短文が書けること	
授業の内容	原則として日本語1の教科書「読み書き編」に従って毎週1課ずつ進む。第1週:第1課はひらがなの読み書きができるように集中的練習を行う。第2週:第2課の漢字の読み書きができるように集中的練習を行う。第3週:第2課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第4週:第3課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第5週:第4課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第6週:第5課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第7週:第6課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第9週:第7課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第9週:第3課から8課までの漢字の復習と既習漢字を使った文章の読解練習第10週:第8課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第11週:第9課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第12週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第13週:第11課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習第15週:全課の漢字の複習と既習漢字を使った文章の読解練習第15週:全課の漢字の表書き練習とそれを使った文章の読解練習第15週:第15週:全課の漢字の表書き練習とそれを使った文章の読解練習第15週:第15週:第15週:第15週:第15週:第15週:第15週:第15週:			
時間外学習	毎週の新出漢字の習得には時間を	外の練習が不可欠な	なので、毎日読み書きの練習をす	
教科書	初級日本語(げんき) <b>第3版</b> (ジャパン・タイムズ社)(初版の教科書は使用できないので、必ず第3版の教科書を購入して下さい。)			
参考書	日英辞典(研究社)			
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト(毎週) 20% 宿題(毎週) 20% 中間試験 20% 期末テスト 40% 但し、出席率 70%以下の場合は期末テストが受けられない。			
備考・注意事項	漢字の習得には毎週授業に出て ある。	必ずその週に学習	した漢字を覚えることが必須で	

授業科目名	日本語 2 読解			
担当教員	深山 道助	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:木曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: shenshan@hotmail.com			
授業のねらい	初級前半修了程度の学習者の読解力の	の向上のための	新たな語彙、表現、漢字の習得	
具体的な 到達目標	約300の基本漢字の書き方と読み方の読解・身近な出来事についての作		派生する語彙の習得・短い文章	
授業の内容	1. オリエスの復習 2. オリエンテーションを初級の復習 2. 初級のおもしろい経験(1) 4. 日本のおも談 6. 日本のおお談所 7. ましまで 8. オープ 7. ましまで 8. オープ 7. ましまで 7. ましまで 8. オープ 7. ましまで 8. オープ 7. ましまで 7. またい 12. 猫の 日記 13. 反美れは試り 7. またい 14. 太に 15. こ期末がでは 15. に関いますで 16. 関連がでは 16. 関連がでは 16. 関連がでは 16. 関連がでは 16. 関連がでは 16. 関連が 16	   字のテストを行		
時間外学習	課題や自主学習に週4時間取り組む。 予習・復習は必須。予習をしている		める。	
教科書	『初級日本語 げんきⅡ 第3版』(TI	he Japan Times	3)	
参考書	『新漢英字典』(研究社) 『日本語』	基本文法辞典』	(The Japan Times)	
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加(10%)、宿題(20%)、小テスト(10%)、 中間・期末テスト(60%)			
備考・注意事項	出席率が70%を割る場合は、期末テ 本授業計画は受講者の理解度・習熟原			

授業科目名	日本語 3 読解 I			
担当教員	大坪 美奈子 所属部局 国際教育推進セン			
単位	2	学期 曜日・時限	後期:木曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	言葉を覚えながら、初中級レベルの3	文章が理解でき	るようになることを目指す。	
具体的な 到達目標	・文章の構成を理解する。 ・文章の中から必要な情報をすばやく探す。 ・接続詞や副詞の適切な使い方を学ぶ。 ・日本の生活や文化について学ぶ。			
授業の内容	1. ガネ物① 2. 読み物② 4. 読み物③ 5. 読み物⑤ 5. 読み物⑤ 6. 読み物⑥ 8. 中読み物⑥ 8. 中読み物⑧ 11. 読み物⑩ 12. 読み物⑩ 13. 読み物⑪ 14. 読み物⑪ 14. だみ物⑫ 15. 復 期末がよりプで内容について話してペアやグループで内容について話して		<b>న</b> .	
時間外学習	復習や小テストの準備などの時間外等	学習を必要とす	る。	
教科書	その都度教材を配布する。			
参考書	参考書は指定しない。			
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、小テスト等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)			
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。授業は日本語で行う。 出席率が70%を割った場合は期末テストを受ける資格がない。			

授業科目名	日本語 3 作文 I			
担当教員	深山 道助 所属部局 国際教育推進センター			
単位	2	学期 曜日·時限	後期:金曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: shenshan@hotmail.com			
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を係 の作文が書けるようになる。	使用し、身近な	トピックについて 600 字 程度	
具体的な 到達目標	・700 字程度の漢字が読み書きできる・限定されたテーマで辞書なしで 60・上記テーマで会話が数分持続できる	0 字程度の作文		
授業の内容	<ol> <li>オリエンテーションと自己紹介</li> <li>買い物</li> <li>旅行</li> <li>文法の復習と読みもの</li> <li>健康問理</li> <li>ス大法の復習と読みもの</li> <li>支法の復習と読みもの</li> <li>本法の復習と読みもの</li> <li>本法の復習と読みもの</li> <li>本法の復習と読みもの</li> <li>本法の復習と読みもの</li> <li>本はの復習と読みもの</li> <li>本はの復習と読みもの</li> <li>本がよりに</li> <li>大学べるための工夫と</li> <li>大学へと向かう方法を</li> <li>少しずつ持続的に習得していく。</li> </ol>	•	さな作文課題を課し作文技術を	
時間外学習	授業後の復習、並びに、作文の作成し	は必須		
教科書	澤田幸子他(2011)『日本語おしゃべ	りのたね』第2	版(スリーエーネットワーク)	
参考書	必要あれば配布			
成績評価の方法 及び評価割合	課題(20%)、スピーチ(20%)、中	間テスト(20%	か)、期末テスト(40%)	
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル3以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字300字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。 出席率が70%以下の場合は期末試験を受けられない。			

授業科目名	日本語 4 文法 I			
担当教員	大坪 美奈子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:月曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	1年を通じて文法 I と文法 II を履修す 正しく使えるようにする。	することで、中科	級レベル文法の理解を深め、	
具体的な 到達目標	気持ちを表す助詞や、硬い文章、丁寧 ることを目指す。	寧な表現など <i>を</i>	理解し、適切に使えるようにな	
授業の内容	日本語4文法Iと同じ教科書を使い、 1. ガイダンス 2. いろいろな働きをする助詞 3. 話題の取動きをする言葉 1 5. 助詞の働きをする言葉 2 6. 助詞の働きをする言葉 3 8. 中間試験 9. 名詞にの方法②/語にないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	1		
時間外学習	宿題・復習など毎週2時間程度の時	間外学習を必要	とする。	
教科書	『中級日本語文法要点整理ポイント	20 』スリーエ	ーネットワーク社	
参考書	『日本語基本文法辞典』『日本語文法	辞典(中級編)』	ジャパンタイムズ	
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度等 (30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%)			
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイスメントテストでレベル4と 判定された者を対象とする。少なくとも漢字500字以上の知識が必要である。 授業は日本語でおこなう。 出席率が70%を割った場合は期末テストを受ける資格がない。			

授業科目名	日本語 4 読解 I			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:月曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	この授業のねらいは、さまざまなテーながら、大学で必要なアカデミックである。また、読解を通して、日本社会	は文章を読むた。 会に関する知識	めの読解力を身に付けることで を得るだけでなく、社会的なテ	
具体的な 到達目標	<ol> <li>社会的テーマに関するまとまった文章を読むことができる。</li> <li>文章を読んで、未知の情報やデータを正確に理解することができる。</li> <li>文章を読んで、得た知識を身近なこととしてとらえ、考えが深められる。</li> </ol>			
授業の内容	<ol> <li>オリエンテーション</li> <li>人と出会う①</li> <li>人と出会う②</li> <li>違いを考える②</li> <li>生活になじむ①</li> <li>生活になじむ②</li> <li>試験Ⅰ</li> <li>子どもと教育②</li> <li>子どもと教育③</li> <li>若者の感性①</li> <li>若者の感性③</li> <li>試験Ⅱ</li> </ol> 『学生がより深く学ぶための工夫】 「つのテーマにつき、追加の読み物を一マに関して、ディスカッションする。			
時間外学習	毎週、予習と課題を行う。 単語クイズのため、復習をする。			
教科書	教材配布			
参考書	近藤安月子、『中級日本語教科書 わた 近藤安月子、『中・上級日本語教科書			
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (35%)、試験 II (35%)、課題 (15%)、単語クイズ (15%)			
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、 ベルの日本語学習者を対象とし、漢写 を前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期	字 500 字、語彙	3000 語程度の知識があること	

授業科目名	日本語 4 作文 I			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:火曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	この授業のねらいは、大学生活で必要 トや発表原稿、メールなどが書ける。 さわしい表現や文型を学ぶ。また、記	ようになること	である。そのために、状況にふ	
具体的な 到達目標	1. 状況(メール・レポート・発表) 2. 身近なことであれば、やや複雑 3. 800 字以上の論理的なレポートが	なことでも説明	できる。	
授業の内容	1. オリエンテーション/自己紹介 2. 故郷介 3. メールの書き方①:形式的なよ 4. メールの書き方②:状況に応じ 5. お気に入りを勧める 6. 助言する:大分での留学 7. ピアリーディング① 8. 書きを説明する 10. 出来事を伝える 11. 由来を説明する 12. 意見を述べる 12. 意見を述べる 13. 論理的なつながりを考える 14. レポートの基本的知識 15. ピアリーディング②/総括 【学生がより深く学ぶための工夫】学習したその週書くことが互いに文章を毎週書くことが互いに文章をあります。	ール、基本的表 たメール	。場面や条件を設定して、具体 。また、ピアリーディングを行	
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。			
教科書	教材配布			
参考書	石黒圭、『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク、 2009 友松悦子、『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク、2008			
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート(30%)、期末レポート	(30%)、各課	題(40%)	
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。 出席率が 70%に満たない場合は、期末レポートを提出する資格はない。			

授業科目名	日本語 4 応用 I			
担当教員	大坪 美奈子 所属部局 国際教育推進センター			
単位	2	学期 曜日·時限	後期:木曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で 能力を実践的な文脈に応用させること いて日本語で議論や分析を行うことで	とを目的として	いる。また様々なトピックにつ	
具体的な 到達目標	<ul><li>・日本語で簡単なディスカッションが行えるようになる。</li><li>・日本語で自己表現が行えるようになる。</li><li>・日本の文化や社会についての理解を深める。</li></ul>			
授業の内容	1. 2. メディアのようでは、 1. カメディインのようでは、 2. メディアのようでは、 2. メディアのようでは、 3. メディアのようでは、 4. メデディインのようでは、 5. メデディインのようでは、 4. メデディインのようでは、 5. メデディインのようには、 5. メデデーのようには、 7. メデデーのようには、 7. メデデーのようには、 7. メデーのようには、 7. メデーのようには、 7. メデーのようには、 7. スカーのののは、 7. スカーのののは、 7. スカーのは、	•	どを学び、学習者同士の簡単な	
時間外学習	復習・課題など、毎週2時間程度の	学習を必要とす	る。	
教科書	毎回、教材を配布する。			
参考書	参考書は指定しない。			
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加 (20%)、プロジェクト (30%)、 その他課題 (20%)、期末試験 (30%)			
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル(レベル4程度)の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧める。 出席率が70%に満たない場合、期末試験を受ける資格はない。			

授業科目名	日本語 5 読解・作文 I			
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:火曜1限	
研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	Doita-u.ac.jp		
授業のねらい	1.上級レベルの学習者を対象に、レポートや学術論文などを読むために必要な文法知識や文章構造に関する知識を学びながら、論文を独力で読めるようになるための基礎的読解力を養成する。 2.短編小説を読み、現代の日本文学に親しむことと、論説文とは異なった分野の語彙や表現の習得を目指す。 3.専門的な文章を書くために必要な作文の基礎知識も学ぶ。			
具体的な 到達目標	1. 1200字程度の短い論説文から、2000字程度の論説文へと段階的に進み、内容を理解するとともに、論文を読むために必要な文法知識や語彙、表現を増やす。 2. 文章の論理構造について学び、大意を把握したり、必要な情報を素早く読み取る。 3. 日本語で書かれた小説を読み、内容を説明できる。 4. 段落の構成について学び、わかりやすい説明文が書ける。			
授業の内容	□ 1.読解:各週、以下の文章の論理構造 る話題に関した論説文を読む。	詞相当語 者の考え か、内容を理解 て方や表現を習   	し、言葉や表現について学ぶ。 得し、作文を書く。 い、学生同士で学び合いができ	
時間外学習	本文の予習・復習、作文等毎週2時	間程度時間外学	習を課す。	
教科書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語3 論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。			
参考書	『改訂版 大学・大学院留学生の日本語 4 論文作成編』アルク			
成績評価の方法 及び評価割合	試験 1(30%)、試験 2(30%)、作文(20%)、宿題(10%)、 クラス参加・態度など(10%)			
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントー 出席率が 70%以下の場合は期末試験			

授業科目名	日本語 5 文法 I			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:月曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	日常会話の多様な表現、あるいは大学 身に付けるため、中・上級表現文型と 運用する力をつける。			
具体的な 到達目標	1. 上級レベル (N2~N1) の日本語 2. 類似表現の意味や使い方の違い 3. 類似表現の違いを理解したうえ	を理解できる。		
授業の内容	1. オリエンテーション/同時 2. 起点・終点 3. 付間後 5. 時間的 6. 条続 6. 条続 8. 試験 I 9. 当 強制 11. 様子 13. 程度 14. その他 15. 試験 I 【学生がより深く学ぶための工夫】学習した文クラス全員で考える。それに付いる。			
時間外学習	予習と復習を行う。 毎週の課題を提出する。			
教科書	教材配布			
参考書	友松悦子、『どんな時どう使う 日本語表現文型辞典』アルク、2010 大阪 YMCA、『くらべてわかる 日本語表現文型辞典』ジェイ・リサーチ出版、2008 アスク出版編集部、『生きた例文で学ぶ 日本語表現文型辞典』アスク出版、2008			
成績評価の方法 及び評価割合	試験 I (40%)、試験 II (40%)、課題	題(20%)		
備考・注意事項	この授業は上級レベルの学習者を対象法の知識があることを前提としているイスメントテストの結果による。 出席率が70%に満たない場合は、期	る。このコース	を受講できるかどうかは、プレ	

授業科目名	日本研究 I			
担当教員	坂井美恵子・南里敬三	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 2 曜日・時限		
担当教員の 研究室 電話・e-mail	坂井: 教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 09 南里: 教養教育棟 3 階 5 番 TEL: 09		Email: msakai@oita-u.ac.jp Email: keizo-nanri@oita-u.ac.jp	
授業のねらい	このコースは日本語日本文化研修生活ための準備を行う。	を対象としてお	り、(日本語で)論文を書く	
具体的な 到達目標	論文を書く上で最も重要な仮説の設定 文献をまとめた後、仮説の検証のたる			
授業の内容	第1週~第5週:研究トピックの絞り記録とがより深く学べるための工夫とであるとでいるとでいてがあることが言いていてである。 第6週~第12週:仮説と調査方法を表していて検る。 第6週~第12週:仮説と調査方法を表しているののではより深くでしての仮説のではないではないがら、最終的にできたができたができたができたができたができたができたができたができたがである。 第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトライン作成第13週~第15週:アウトラインを踏まるである。	かっぱい   かっぱい	がら絞り込んでいく。選んだト、データは実際に集まるのか等ける。先行研究についても調査 仮説の設定である。論文を書く ために、まずは少量のデータを る。仮説の修正とデータ収集方 決める。	
時間外学習	2 時間の予習と 1 時間の復習が必要で	である。		
教科書	なし			
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要フ	な参考文献リス	トを配布する	
成績評価の方法 及び評価割合	アウトライン(50%)、先行研究のまとめ(50%)			
備考・注意事項	対象は日本語日本文化研修生のみではに合わせて設定する。	ある。論文のテ	ーマは受講生の興味や日本語カ	

2. グローバル科目

(留学生・日本人学生向け科目)

(使用言語:日本語/日本語と英語/英語)

授業科目名	日本語文法分析		
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	日常接している日本語をさまざまな 作業を通じて、日本語を言語として選 般の特徴を分析する力を養う。		
具体的な 到達目標	<ol> <li>言語学の基本的な考え方を学び、語や文の分析に応用できる。</li> <li>日本語と他の言語を比べ、共通点と相違点が説明できる。</li> <li>外国語としての日本語を効果的に教える方法を提案する。</li> </ol>		
授業の内容	1. オリエンテーション:日本語文法分析とは? 2. 言語学から日本語を分析する① 言語の特徴 3. 言語学から日本語を分析する② 言語の機能 4. 世界における日本語の位置づけ 5. 日本語の文法的特徴① 基本文型/助詞/自・他動詞 6. 日本語の文法的特徴② 受け身/授受表現/敬語 7. 日本語の文法的特徴③ 述語構成 8. 語用論から見る日本語① 9. 語用論から見る日本語② 10. 筆記試験 11. 日本語教授法① 教材分析 12. 日本語教授法② 教案作成(1) 13. 日本語教授法③ 教案作成(2) 14. 日本語模擬授業① 15. 日本語模擬授業②  【学生がより深く学ぶための工夫】 日本人学生と留学生がグループとなり、日本語を言語学のさまざまな観点から分析する。その結果を発表したり、日本語を教える模擬授業を体験したりすることで、		
時間外学習	毎週出される課題を行う。   グループ発表や模擬授業の準備をする	<b>5</b> .	
教科書	教材配布		
参考書	原沢伊都夫、『日本語教師のための入門言語学―演習と解説』スリーエーネットワーク、2016/伊坂淳一、『新ここからはじまる日本語学』ひつじ書房、2016/荒川洋平、『日本語教育のスタートライン』スリーエーネットワーク、2016/荒川洋平、『日本語教師のための応用認知言語学』凡人社、2009		
成績評価の方法 及び評価割合	筆記試験(50%)、模擬授業(30%)、課題(10%)クラス参加・態度(10%)		
備考・注意事項	出席率が70%に満たない場合は、期末テストを受ける資格はない。 留学生は日本語能力試験 N2 以上の文法知識があることを前提とする。		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 3(時事問題Ⅱ)			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	このコースは留学生と日本人学生を対象とし、主に経済に関するニュースを聞き取り、新聞記事を読み解く能力の習得を目指すものである。さらに、それらの情報を用いて、異なる背景を持つ者が共にディスカッションすることで、自らの意見を述べる能力の習得も目指す。			
具体的な 到達目標	・経済に関するニュース、新聞記事の内容を理解することができるようになる。 ・ニュース、新聞記事の内容を整理し、要点をまとめることができるようになる。 ・ニュース、新聞記事の内容を正確に分かりやすく伝え、さらに議論することがで きるようになる。			
授業の内容	1.コースの概要説明 2.情報選択の重要性 3.新聞記事を読む 4.新聞記事の要約 5.新聞記事の批評 6.ニュースを聞く 7.ニュースの要約 8.ニュースの批評 913.チームで情報を選び、意見を述べる 14.発表 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 インターネットニュースなどから適切な情報を選択し、調査する。 チームによるディスカッション及びディベートの実施。発表を録画し、ルーブリックを用いた自己評価、フィードバックを行う。			
時間外学習	日本の様々な社会・経済問題に関心を持ち、ニュース、新聞等に触れる習慣を身に付けること。			
教科書	経済問題を扱ったニュースなどの動詞	画、新聞記事、	ハンドアウト	
参考書	日本語辞書など(その他授業で提示)			
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度·宿題(15%)、聴解(10%)、読解作文(15%)発表(15%)、 期末 試験 (45%)			
備考・注意事項				

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習4(実践演習)					
担当教員	戸坂 弥寿美 所属部局 国際教育推進センター					
単位	2	学期 曜日・時限	前期:金曜2限			
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com					
授業のねらい	このコースは留学生と日本人学生を対通して、ビジネス場面に必要なコミニを目指すものである。					
具体的な 到達目標	<ul><li>・企業について客観的に分析し、丁寧に伝えることができる。</li><li>・様々なリソースを用いて必要な情報を集め、まとめることができる。</li><li>・ビジネス場面におけるマナー、会話、ライティングスキルを身に付ける。</li></ul>					
授業の内容	1.コースの概要説明 2.3.産業・職種・企業について 4.調査対象(企業)の選択 5.チームによる企画書の作成 6.情報収集 7.敬語とマナー 8.ビジネスメールを書く 9.メール交渉 10.情報のまとめと報告書の作成 11.中間報告 12.発表の準備、発表の仕方 13.情報整理 14.プレゼンテーション 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 チームによる企業調査、交渉、企業訪問とインタビューの実施。 チームでの報告書作成に加え、個人レポートも作成する。					
時間外学習	日本の社会や企業に関心を持ち、情報を集める。 また、改まった場面でのコミュニケーションスキルを身に付け、積極的に実践する。					
教科書	ハンドアウト					
参考書	日本語辞書など(その他授業で提示)					
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度(10%)、課題(20%)、プレゼンテーション(25%)、期末試験(45%)					
備考・注意事項						

授業科目名	歩いて楽しい街:大分と別府			
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:金曜3限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番 TEL: 097-554-7635 Email: keizo-na	nri@oita-u.ac.j	р	
授業のねらい	大分市および別府市を人が集まる都市 分駅周辺、JR別府駅東口前の市街地			
具体的な 到達目標	を考察し、面白い街作りの提案ができ クは次の通り。(1)大分市街地の特	このコースでは、留学生とのディスカッションを通じて、大分市と別府市の現状を考察し、面白い街作りの提案ができるようになる。ディスカッションのトピックは次の通り。(1)大分市街地の特徴、(2)JR別府駅東口前の市街地の特徴、(3)別府市鉄輪の特徴、(4)バブル経済崩壊後の観光産業の変化。		
授業の内容	第1回:オリエンテーション、グループを作り仲間意識を育てる第2回:大分市中心市街地の構造と現状1 第3回:大分市中心市街地の構造と現状2 第4回:大分市中心市街地の拠点分析 第5回:研修旅行予備調査 第6回:研修旅行1(大分市内を予定) 第7回:プレゼン1 第8回:観光の在り方の変化と別府 第9回:別府市東口駅前の文化財・B級グルメ・温泉調査 第10回:東口駅前地区に人を呼び込むには 第11回:研修旅行2(JR別府駅東口前の市街地及び鉄輪地区を予定) 第12回:プロモーション計画立案 第13回:プレゼン2 【学生がより深く学べるための工夫】 コース参加者の知識習得の進捗状況はクラスディスカッションによってモニタリングされ、必要に応じて授業の進行速度を変える。授業の理解が十分でないと判断された場合は簡単なクイズ等で理解を深める。また、別府と大分の市街地を実際に			
時間外学習	訪れることで、授業で得た知識を確認することができる。 それぞれの授業のトピックに関する事前調査 (15h)。大分駅周辺、大分市内の商店、および、そこで販売されている商品の調査(10h)。大分市美術館、大分県立美術館、南蛮BUNGO交流館等の拠点調査(10h)。授業でのディスカッションのまとめ(5h)。プレゼン準備(10h)。			
教科書	プリントを授業で配布する。			
参考書	授業中に参考文献のリストは配布され	ー れる。		
成績評価の方法 及び評価割合	発表1(25%)、発表2(35%)、課題(6%×5回)、授業でのディスカッションへ 積極的参加(10%)			
備考・注意事項	このコースは日本語と英語で行われるが、主言語は日本語である。単位取得には 70%以上の授業参加が必要。2回の研修旅行の参加は必須。研修旅行1回は授業2回 分に相当する。			

授業科目名	日本の歴史・文化・社会入門		
担当教員	長池 一美	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期:木曜3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 4 番 TEL: 097-554-7953 Email: nag	aike@oita-u.ac.jp	
授業のねらい			事項を学ぶ。また、グローバル化 、ム、多文化主義、靖国問題など)
具体的な 到達目標	1. 日本の歴史に精通する。 2. 日本文化の特性を理解する 3. 現代日本の社会の特性を理解		
授業の内容	1) コースの概要について 2-4) 歴史 5-7) 日本社会の分析と日本人の心理分析(本音と建前、内と外、義理、集団意識、贈答、先輩と後輩、甘えなど) 8) 家族と家制度 9) 企業と労働 10) ナショナリズムと想像の共同体 11) 多文化主義(例:アイヌ民族の問題) 12) 古典文学と美学 13) アジアの中の日本(例:靖国神社の問題) 14-15) グループプロジェクト 【学生がより深く学べるための工夫】 この授業はレクチャー、(グループ) ディスカッション、プロジェクト準備・発表を中心として構成される。		
時間外学習	指定された文献を事前に熟読し、主題や論点について、要約を行っておくこと。課題や自主研究に週4時間取り組む必要がある。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	第一回授業で配布		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加 20% 小試験 20% グループプロジェクト 20% 期末試験 40%		
備考・注意事項			

授業科目名	ジェンダーとセクシュアリティ		
担当教員	菅沼 勝彦	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期・後期:火曜3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3 番 TEL: 097-554-6171		
授業のねらい	この授業では日本におけるジェンダーとセクシュアリティに関する文化について 分析する。多様な実例に基づきジェンダーとセクシュアリティにおける差別解消の 状況を理解する。人種、エスニシティ、階級、エイブリズムなどとの交差性を考慮 し、日本文化に対する狭義的な理解を批判視する能力を養う。		
具体的な 到達目標	1. ジェンダー・セクシュアリティ研究の基礎知識を習得する。 2. 現代日本文化における差別と不平等問題を考察する。 3. 文化や社会現象に対する交差的な分析力を発展させる。		
授業の内容	第1週:導入(理論、思想、実践) 第2週:続導入(理論、思想、実践) 第3週:がエンダー 第4週:セクシュアリティ 第5週:ポピー 第5週:ポピー 第6週:ポピー 第7週:サ間と 第7週:大門間 第9週:大門間 第9週:マー 第11週:マー 第11週:マー 第11週:マー 第11週:ボー 第11週:ボー 第11月週:オー 第11月週: オー 第11月週: オー 第1月間: オー 第1月		
時間外学習	予習復習に3時間程度の学習時間が	必要	
教科書	学期中に教員より配布・提示される。		
参考書	学期中に教員より提示される。		
成績評価の方法 及び評価割合	<ol> <li>ディスカッション・エントリー(30%)</li> <li>ミニ・レクチャー(20%)</li> <li>リサーチ・プロポーザル(10%)</li> <li>リサーチ・ペーパー(40%)</li> </ol>		
備考・注意事項	出席率 70%以下(講義 4 回欠席)の	場合は不合格と	:なる。

授業科目名	日本語文法とディスコース		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	前期:水曜3限 後期:金曜3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番 TEL: 097-554-7635 Email: keizo-na	ınri@oita-u.ac.j	p
授業のねらい	英語を話す初級日本語学習者が学ぶ文構成に必要な格助詞(を、に、と、へ、 で)の用法を理解する。主題提示を行う「は」の機能を理解する。日本語の動詞 群の構成法を理解する。日本語のテクスト(文章)構成の原理をスキーマの視点 から理解する。		
具体的な 到達目標	英語を母語とする初級日本語学習者に格助詞の使い方の説明ができるようになる。長い動詞群の構成(例えば「たべさせられてしまっているのかもしれない」)がどうしてそのような構成になっているのが説明できるようになる。 「は」の基本的機能が理解でき、「は」を巡る文章構成の指導ができるようになる。		
授業の内容	第1回:オリエンテーション 第2回:日本語品詞 第3-7回:日本語における経験機能:格助詞と構文1 第8回:プレゼンテーション1 第9回:日本語における経験機能:格助詞と構文2 第10-12回:対人機能と動詞群の構造 第13-14回:「は」の機能と文章構造、文化 第15回:プレゼンテーション2 【学生がより深く学べるための工夫】 授業はグループディスカッションの形をとる。日本の国語の授業では問題にされる ことのないテーマを考え、分析力を身につけていく。それがひいては留学生への文 法説明能力の養成に繋がっていく。コース参加者は品詞の性質から徐々に日本語の 文構造を学んでいき、最終的には文化とは何かという問題へと導かれていく。		
時間外学習	予習1時間、復習2時間が必要		
教科書	プリントを授業で配布する。		
参考書	授業中に参考文献のリストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	小さい課題(5点×10回)、プレゼンテーション1(20点)、プレゼンテーション2 (30点)		
備考・注意事項	グループディスカッションへの参加し	<b>は必須</b> 。授業は	日本語で行われる。

授業科目名	日本の英語教育		
担当教員	麻生 雄治	所属部局	教育学部
単位	2	学期 曜日・時限	前期:火曜3限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 4 階 13 番 TEL: 097-554-7949 Email: yujiaso@	oita-u.ac.jp	
授業のねらい	このコースの目的は、日本の英語教育の現状を振り返り、その歴史的発展を反映しつつ、今後の英語指導の在り方を考察することである。日本の初等・中等教育における英語の授業やテストの背後にある基本理念を掘り下げ、日本の英語授業がいかにして学習者に実用的な言語スキルとコミュニケーション能力を身につけさせることができるかを探求することを目指す。		
具体的な 到達目標	受講者は、①日本における英語教育の理論と実践を理解し、②英語授業と教材開発の原則を学び、③既存の言語教育とテストを分析・評価し、④非英語母語話者の英語学習者のための言語教育およびテストを作成することができるようになる。		
授業の内容	<ol> <li>ガイダンス、日本の英語教育の概観</li> <li>語彙学習</li> <li>リスニングの指導と評価</li> <li>リーディングの指導と評価</li> <li>ライティングの指導と評価</li> <li>ライティングの指導と評価</li> <li>思考を促す発問</li> <li>フィードバックの方法</li> <li>センテンス・コンバイニングの技法</li> <li>PPP&amp; TBLT, Focus on Form, CAN-DO リスト</li> <li>評価とテスト作成</li> <li>模擬授業</li> <li>授業研究①(小学校)</li> <li>授業研究②(中学校)</li> <li>授業研究③(高校)</li> <li>【学生がより深く学べるための工夫】</li> <li>ペアワークやグループワークを多用し、積極的に活動するアクティブラーニングを実践する。</li> </ol>		
時間外学習	授業前に、与えられた課題に取り組んだりプレゼンテーション等の準備をしたりすることが必要である。		
教科書	特定の教科書を使用しない。読解課題やその他の課題、および資料は授業内で配布する。		
参考書	必要に応じて授業内で紹介する。		
成績評価の方法 及び評価割合	活動への積極的な参加 (20%)、課題 (20%)、プレゼンテーション (20%)、最終レポート (40%)		
備考・注意事項	ペアまたは小グループによって行わ 極的に取り組むことを期待する。授		

授業科目名	機械工学概論			
担当教員	福永 道彦・岩本 光生・ 小田 和広・田上 公俊・ 濱川 洋充・劉 孝宏・橋本 淳	所属部局	理工学部	
単位	2	学期 曜日・時限	前期:水曜5限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	理工 9 号棟 2 階 201 番 TEL: 097-554-7800 Email: fukunaga	am@oita-u.ac.j	р	
授業のねらい	機械工学の役割について理解するためを通して行い、機械の設計製作方法は えてもらう。			
具体的な 到達目標	本授業を受講した学生は、安全性が 械・構造物の設計に必要な基礎的知識 ける各種産業機械の役割を工学的に	哉の概要を理解	すること、および現代社会にお	
授業の内容	以下の項目を原則として2回ずつ実施する。開講の順番は初回のガイダンスで説明する。 (1) 伝熱学: 熱の伝導について理解する (2) 材料力学: 機械に使われる材料の強さについて理解する (3) 熱工学: 熱機関について理解する (4) 流体力学: 流体に関する力学について理解する (5) 機械力学: 構造体の振動に関する力学について理解する (6) 機械設計: 設計と工作について理解する (7) 燃焼工学: 機械工学に関わる燃焼について理解する (プリ 燃焼工学: 機械工学に関わる燃焼について理解する (アリ 燃焼工学: 機械工学に関わる燃焼について理解する			
時間外学習	事前学習:工業新聞および一般新聞の工業に関する紙面などを通して、機械工学に関する記事を読み、問題点などを事前に学習する。 事後学習:授業で学習したことを活かしてレポートの完成度を高める。配布資料を用いて復習する。			
教科書	適宜資料を配布する。			
参考書	菅原菅雄他:機械工学大意 産業図	書(ISBN 978	-4782840023)	
成績評価の方法 及び評価割合	授業ごとのレポート:30% 中間試験:35% 期末試験:35%			
備考・注意事項	受講者は、応用数学と物理学(特に)	カ学)の基礎的	内容を理解していること。	

授業科目名	日本語表現技術			
担当教員	戸坂 弥寿美	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:火曜2限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: tosakayasumi@gmail.com			
授業のねらい	この授業のねらいは、積極的に議論し を的確に伝えられるようになること 身に付ける。また留学生と日本人学生 とで、相互理解を促進する。	である。内容を	精査して、論理的に話す技術も	
具体的な 到達目標	1. 目的に応じてパワーポイント等: 2. 論理的で説得力のある話ができる。 3. 多様な背景を持つ人と協力し合い	るようになる。		
授業の内容	1. オリエンテーション/ ディスカッション (2) 4. ディスカッショシンの手法 (3) 4. プレゼンテーションの準備 (2) 7. 発表 (1) (2) 7. 発表 (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	ッションの手法 力のある話した 議論 手法 もし合いで でしている	う 情極的にディスカッションをす はなく、振り返りの時間に、グ	
時間外学習	原則として毎週課題を課す。 発表のために授業外でグループ活動を行う。十分な準備時間を確保する。			
教科書	教材配布			
参考書	中澤務、『知のナヴィゲーター』くろしお出版、2007 東海大学留学生教育センター、『口頭発表と討論の技術』東海大学出版会、1995 木南法子『論理的で正しい日本語を使うための技術とトレーニング』ベレ出版、2013			
成績評価の方法 及び評価割合	グループディスカッション(20%)、 課題提出(10%)、期末レポート(10	· · · · ·	ョン(30%)、対立討論(30%)、	
備考・注意事項	様極的に課題に取り組む学生を対象の 30名を上限とする。 出席率が70%に満たない場合は最終 留学生は中級以上の日本語学習者を対 字、語彙3000程度の知識があること	とする。発表時 課題の参加資格 対象とする。中	らはない。 級レベルの学習者は、漢字 500	

授業科目名	日本語学丨		
担当教員	坂井 美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	後期:木曜2限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 7 番 TEL: 097-554-7516 Email: msakai@	Doita-u.ac.jp	
授業のねらい	日本語の音声、語彙、文法、方言など 自ら分析できる力を養い、日本語に 日本語上級レベルの留学生と、日本語 授業である。	対する知識と興	味を深めることを目的とする。
具体的な 到達目標	1. 日本語の音声、語彙、文法、方言 徴について考えられるようにな 2. 興味のある分野について、自ら記	る。	
授業の内容	2. 興味のある分野について、自ら調査し、結果について考察できるようになる。  1. 概略 「日本語学」とはどんなもの? 2. 世界の言語と日本語 日本語は特殊な言語? 3. 文法 「ラ抜き言葉」は間違った日本語? 4. 音声 なぜ「な゛」はないか。 5. 音声 「大型」は「オオガタ」。では「大風」は「オオガゼ」じゃない? 6. アクセント 「このハシを渡るべからず」 7. 語彙 「マツジュン」はなぜ「マツジュ」と呼ばれない? 8. 方言 「一回生」って何? 9. 中間試験 10. 語彙 「哲学」と「ナイター」の共通点? 11. 位相 「わしは博士じゃ」 12. 文法化 「好きになっちゃった」に込められたキモチ 13. 音声構造 「大分」「大学」と「大分大学」の区別ができる? 14. グループ発表 15. グループ発表とまとめ  【学生がより深く学べるための工夫】 ・各テーマに関連した読み物を配布し、内容についてグループで教え合い、意見交換を行うようにする。 ・各テーマに関連した学習者自身の見解や体験について書く宿題を課し、グループでシェアし、優れたものは全体に紹介する。		
時間外学習	・学習者自身で事例を集め、言語規則や特徴を見つけられるような課題を扱う。 ・授業では留学生と日本人学生とのグループディスカッションを行うため、予習と 毎週出される課題に取り組むことが前提となる。 ・興味のある分野について、自ら調査した結果をレポートにまとめ、発表する。		
教科書	ハンドアウトを配布する。		
参考書	衣畑智秀(2023)『基礎日本語学 第2版』ひつじ書房 庵功雄(2012)『新しい日本語学入門 ことばのしくみを考える』スリーエーネットワーク		
成績評価の方法 及び評価割合	中間試験(40%)、グループプロジェクト(30%)、課題(20%)、 クラス参加、態度など(10%)		
備考・注意事項	日本語能力試験N1程度の留学生と、 日本語に興味があり、積極的に課題(		

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 1 (時事問題 I)		
担当教員	深山 道助	所属部局	国際教育推進センター
単位	2	学期 曜日・時限	後期:木曜1限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: shenshan@hotmail.com		
授業のねらい	このコースは、留学生と日本人学生を対象とし、日本のマスコミによる情報拡散システムの特徴、マスコミと政府の関係、マスコミの報道姿勢を理解した上で、新聞に掲載される犯罪・政治・財政記事を読みこなすスキルを身に付けることを目的とする。		
具体的な 到達目標	(1) 日本の新聞が掲載する犯罪記事、政治記事、財政政策に関する社説がどの様な 段落構成になっているのか理解できるようになる。(2)社会部記者と警察・検察との 関係が理解できるようになる。(3)政治記者と政治家・官僚の関係が理解できるよう になる。(4)日本のマスコミ産業の特徴が語れるようになる。		
授業の内容	1.オリエンテーション、日本のマスメディア概観 2.記者クラブ 3.出来事記事と意見記事 4.犯罪記事の特徴 5.政治記事の特徴 6-7.思想的立ち位置と社説 8.経済談義の社説と財務省 9.不偏不党 10.発表 1 11.日本の政党とその財政政策 12.国債発行と財政破綻論 13.分析プロジェクト立案 14.ワークショップ 15.発表 2 【学生がより深く学べるための工夫】 授業では今のマスコミに絶えず焦点を当て、ことあるごとにマスコミのタイムリーな動向をネット検索し、リアルなマスコミを授業では体感してもらう。		
時間外学習	日本のマスコミによる報道だけではなく他国のマスコミによる報道も毎日読む習慣をつけ、日本のマスコミの特徴を日々発見していくことを推奨する。		
教科書	授業中にハンドアウトを配布する。		
参考書	日本語辞書など(その他授業で提示)		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的参加(20%)・宿題(30%[8回])、発表 1(20%)、発表2(30%)		
備考・注意事項			

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習2(キャリア形成)			
担当教員	深山 道助	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:金曜1限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	Email: shenshan@hotmail.com			
授業のねらい	このコースは、留学生と日本人学生を ョンすることを通して、ビジネス場面 グ能力の習得を目指すものである。			
具体的な 到達目標	・基本的な統計データから経済状況 ・現在の日本企業の実態が把握できる ・日本において職を見つけるための	るようになる。		
授業の内容	・日本において職を見つけるための基礎知識を身に付ける。  1. コースの概要説明、世界・日本経済の動向 2. 二極分解する日本社会 3. 世界に影響力を持つ日本企業 4. 伸びている産業 5. 就職先の決め方 6. 日本人の労働観 7. 日本再興プロジェクト準備 8. 日本再興プロジェクト発表 9. 就活の流れ 10. ビジネスマナー: 敬語 11. 面接と人柄 12. 履歴書を書く 13. 会食のマナー 14. ポジティブ思考とお礼 15. スピーチ  【学生がより深く学べるための工夫】 分かりやすい統計データで日本経済の現状の把握を試みる。現在の日本社会の特徴を、YouTube動画等を交えて視覚的に理解していく。日本再興プロジェクトを提案することで日本経済の問題点に対する理解を深める。ディスカッションを通して日本で成功する方法を受講者自ら積極的に考えていけるようになる。			
時間外学習	ニッチ化で生き残りを模索する企業に対するリサーチを自主的に行ってもらいたい。 どんな社会にも光と影の部分がある。経済的闇の中に光る日本企業、日本人アーティ ストから積極的に学んでほしい。			
教科書	ハンドアウト			
参考書	日本語辞書など(その他授業で提示)			
成績評価の方法 及び評価割合	積極的授業参加(10%)、課題(40%)、プロジェクト発表(25%)、スピーチ(25%)			
備考・注意事項				

授業科目名	ソーシャルネットワークと大分からの発信 II			
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター	
単位	2	学期 曜日・時限	後期:月曜4限	
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番 TEL: 097-554-7635 Email: keizo-na	ınri@oita-u.ac.j	o	
授業のねらい	この科目は国東と湯布院の魅力をブレーネット上における効果的な情報発作ループワークができる人材養成も念頭	言力を身に付け	ることを目的とし、同時にグ	
具体的な 到達目標	このコースではディスカッションを通じて次のようなことを学んでいく。 (1) 安全なインターネット生活を送るための基礎知識、 (2) 六郷満山文化・湯布院開発史の基礎知識、 (3) ブログの始め方、 (4) Wixホームページの使い方。このコースを終えるころにはインターネット上での情報拡散についての最低限度の知識が身につくことになる。2回の研修旅行では国東市及び湯布院の観光産業が置かれている現状にも着目し、そこでの気づきを最終報告書として提出する。			
授業の内容	第1回:オリエンテーション、仲間を見つける。授業まとめ1 第2回:インターネットの基礎知識、授業まとめ2 第3回:ブログを始める。授業まとめ3 第4回:六郷満山文化とは、授業まとめ4 第5回:研修旅行準備、ブログ記事内容についてのディスカッション 第6回:研修旅行1(国東市国見地域を予定) 第7回:ブログ発表(プレゼン1) 第8回:Wixでホームページを始めてみる。授業のまとめ5 第9回:六郷満山文化とは、授業まとめ6 第10回:研修旅行2(湯布院商業地域を予定)、授業まとめ7 第11回:湯布院の歴史 第12回:ホームページの構成、グループディスカッション 第13回:ホームページの構成、グループディスカッション 第13回:ホームページの構成、グループディスカッション 第13回:ホームページの構成、グループディスカッション			
時間外学習	予習3時間、復習3時間が必要。			
教科書	プリントを授業で配布する。			
参考書	ブログに掲載する。			
成績評価の方法 及び評価割合	課題(10 点)、フィールドワーク(研修旅行)(第一回10点、第二回10点)、ブログ作成・発表(20点)、ホームページ作成・発表(25点)。最終報告書(25点)。ブログとホームページ作成はグループワーク。70%以上の出席がない場合は不合格とし、フィールドワークと最終報告書の点数を合計点から除外する。			
備考・注意事項	授業は日本語と英語で行われるが、日本は必須。研修旅行1回は授業2回分の		語となる。2回の研修旅行の参	

1. Japanese	Language and	Japanese	Studies	Courses	for I	nternational
Students		•				

Course Title	Japanese 1 Grammar			
Lecturer	SUGANUMA, Katsuhiko	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> period Fall: Tuesdays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-6171	lo.3-3		
Aims	Acquisition of basic Japanese gram	mar and langua	age functions.	
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to  1. Read and write Kana characters including both Hiragana and Katakana;  2. Understand the basic Japanese grammar and language functions and use them when expressing requests, preferences, reasons, and wishes.			
Content	Week 1: Introduction to the course—Hiragana & basic greetings Week 2: Lesson 1 Vocabulary/Grammar & Introduction to Katakana Week 3: Lesson 2 Vocabulary/Grammar Week 4: Lesson 3 Vocabulary/Grammar Week 5: Lesson 4 Vocabulary/Grammar Week 6: Lesson 5 Vocabulary/Grammar Week 7: Lesson 6 Vocabulary/Grammar Week 8: Mid-term Exam Week 9: Lesson 7 Vocabulary/Grammar Week 10: Lesson 8 Vocabulary/Grammar Week 11: Lesson 9 Vocabulary/Grammar Week 12: Lesson 10 Vocabulary/Grammar Week 13: Lesson 11 Vocabulary/Grammar Week 14: Lesson 12 Vocabulary/Grammar Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered hands-on activities are employed to enhance basic Japanese language acquisition. Satisfactory completion of weekly homework and quizzes are required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class LMS, Moodle.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.			
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305			
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)			
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Japanese 1 Conversation			
Lecturer	SUGANUMA, Katsuhiko	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 1 <sup>st</sup> period Fall: Wednesdays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-6171	lo.3-3		
Aims	Acquisition of basic Japanese oral co	ommunication s	skills	
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to:  1. Carry on basic conversations in several situations  2. Express requests, preferences, reasons, and wishes using basic vocabulary and Japanese language functions			
Content	Week 1: Introduction to the course & greetings Week 2: Lesson 1 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 3: Lesson 2 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 4: Lesson 3 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 5: Lesson 4 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 6: Lesson 5 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 7: Lesson 6 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 10: Lesson 8 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 11: Lesson 9 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 12: Lesson 10 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 13: Lesson 11 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 14: Lesson 12 Practice speaking with new vocabulary and grammar points Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered hands-on activities based on real-life situations are used to enhance oral communication skills. Satisfactory completion of weekly homework is required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class LMS, Moodle.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.			
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305			
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)			
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Japanese 1 Integrated Activities			
Lecturer	SUGANUMA, Katsuhiko	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring & Fall: Fridays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-6171	0.3-3		
Aims	Acquisition of basic Japanese langua	age skills throu	gh comprehensive learning activities	
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to  1. Grasp basic Japanese grammar and language functions  2. Express requests, preferences, reasons, and wishes by using vocabulary typical in daily life			
Content	Week 1: Introduction to the course (greetings and kana review) Week 2: Lesson 1 Comprehensive learner-centered tasks and activities review practice Week 3: Lesson 2 Comprehensive review practice of Lesson 2 Week 4: Lesson 3 Comprehensive review practice of Lesson 3 Week 5: Lesson 4 Comprehensive review practice of Lesson 4 Week 6: Lesson 5 Comprehensive review practice of Lesson 5 Week 7: Lesson 6 Comprehensive review practice of Lesson 6 Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Comprehensive review practice of Lesson 7 Week 10: Lesson 8 Comprehensive review practice of Lesson 9 Week 11: Lesson 9 Comprehensive review practice of Lesson 10 Week 13: Lesson 10 Comprehensive review practice of Lesson 11 Week 14: Lesson 12 Comprehensive review practice of Lesson 12 Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered learning activities based on real-life situations are used to enhance overall language skills. Satisfactory completion of weekly homework is required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the LMS, Moodle.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.			
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (3rd ed.). The Japan Times. ISBN: 978-4789017305			
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)			
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Japanese 1 Reading			
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays, 4 <sup>th</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag			
Aims	It aims at helping learners read a	and write the complete	e range of basic kanji characters.	
Learning Outcomes	Students will acquire Hiragana, k comprehend short paragraphs co		nji. They will be able to write and y assigned-kanji.	
Content	Week 1: Introduction of Hiragana (practice). Week 2: Introduction of Katakana (practice) and Lesson 1 (vocabulary/Grammar). Week 3: Lesson 2 (vocabulary/Grammar). Week 4: Lesson 3 (vocabulary/Grammar). Week 5: Lesson 4 (vocabulary/Grammar). Week 6: Lesson 5 (vocabulary/Grammar). Week 7: Lesson 6 (vocabulary/Grammar). Week 8: Lesson 7 (vocabulary/Grammar). Week 9: Lesson 8 (vocabulary/Grammar). Week 10: Revision of Lessons 1-8 (vocabulary/Grammar). Week 11: Lesson 9 (vocabulary/Grammar). Week 12: Lesson 10 (vocabulary/Grammar). Week 13: Lesson 11 (vocabulary/Grammar). Week 14: Lesson 12 (vocabulary/Grammar). Week 15: Revision of all lessons (vocabulary/Grammar).  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given to assist students to acquire Kanji.			
Recommendation for Private Study	Revision of the weekly-introduced Kanji is very important. Practice reading and writing the Kanji daily until you feel confident.			
Textbooks	An Introduction to Elementary Japanese (Genki I); Third Edition; The Japan Times. (The Second Edition of the Book should not be acceptable.)			
References	A dictionary of basic Japanese grammar, The Japan Times. Japanese-English Learner's Dictionary, Kenkyusha.			
Assessment Criteria	Weekly Tests 20% Weekly Assignments 20% Mid-term Examination 20% Final Examination 40%. It is a requirement that a student should attend more than 70 % of the class time to be eligible for the final examination.			
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.			

Course Title	Japanese 2 Grammar			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 1 <sup>st</sup> Period Fall: Mondays 2 <sup>nd</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i>			
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to accurately explain the temporal relation between events, to present future plans and expectations by employing volitional forms and the like, to report events caused by someone, and to properly speak to someone based on the social relationship between him/her and his/her addressee.			
Content	Weeks 1-2: Review of <i>te</i> -forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)  Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.  Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.  Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.  Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.  Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara, maeni, tekara,</i> give us accurate accounts of past events.  Weeks 8-9: Review.  Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.  Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.  Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.  Week 14-15: Report events caused by someone.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class			
Textbooks	Genki II: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times  Genki II Workbook: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times			
References	A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, The Japan Times			
Assessment Criteria	Vocabulary Quizzes 10%, Attendance & Class performance 10%, Homework 10%, Lesson Tests 20%, Mid-Term Exam 20%, Final Exam 30%			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.			

Course Title	Japanese 2 Conversation			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 2 <sup>nd</sup> Period Fall: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i> .			
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to spontaneously continue to talk for at least 8 minutes in a dialogic situation on one or more of the following topics: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to use <i>keigo</i> .			
Content	Weeks 1-2: Review of <i>te</i> -forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)  Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.  Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.  Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.  Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.  Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara, maeni, tekara,</i> give us accurate accounts of past events.  Weeks 8-9: Review.  Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.  Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.  Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.  Week 14-15: Report events caused by someone.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.			
Textbooks	Genki II: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times  Genki II Workbook: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times			
References	A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, The Japan Times			
Assessment Criteria	Vocabulary Quizzes 10%, Attendance & Class performance 10%, Homework 10%, Lesson Tests 20%, Mid-Term Exam 20%, Final Exam 30%			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Grammar and Japanese 2 Integrated Activities.			

Course Title	Japanese 2 Integrated Activities			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 2 <sup>nd</sup> Period Fall: Wednesdays 1 <sup>st</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing <i>keigo</i> .			
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to read and understand conversation texts whose topics are: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to write an essay on 'me in 10 year's times' that is 600-ji long in Japanese without using dictionaries.			
Content	Weeks 1-2: Review of <i>te</i> -forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.)  Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do.  Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members.  Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses.  Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them.  Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With <i>tara</i> , <i>maeni</i> , <i>tekara</i> , give us accurate accounts of past events.  Weeks 8-9: Review.  Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs.  Weeks 11-12: Learn <i>keigo</i> (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address.  Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions.  Week 14-15: Report events caused by someone.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.			
Textbooks	Genki II: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times Genki II Workbook: An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times			
References	A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar, The Japan Times			
Assessment Criteria	Vocabulary Quizzes 10%, Attendance & Class performance 10%, Homework 10%, Lesson Tests 20%, Mid-Term Exam 20%, Final Exam 30%			
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Grammar.			

Course Title	Japanese 2 Reading			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com			
Aims	This course aims to enable studer elementary Japanese to acquire new			
Learning Outcomes	To read and write the basic 300 Ka To learn words utilizing the basic k To read short essays (in the textbo	Kanji	paragraphs	
Content	1. Orientation & Review (1) 2. Review (2) 3. Interesting Experiences in Japan (1) 4. Interesting Experiences in Japan (2) 5. Personal Advice Column 6. My Favorite Place 7. The Manga Doraemon 8. Mid-term Exam 9. Yoko Ono 10. College Life 11. Letters and E-mails 12. A Cat's Plate 13. Unlucky Ages 14. Sakura's Diary 15. What Does This Face Mean? (Emoticon &Pictograph) 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to take a Kanji quiz each week. This will enhance students' ability to use their newly acquired written and oral vocabulary			
Recommendation for Private Study	At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required. Students are expected to come to class fully (at least adequately) prepared.			
Textbooks	Genki Ⅱ : An Integrated Course in Elementary Japanese, The Japan Times			
References	New Japanese-English Character Dictionary, Kenkyusha A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times			
Assessment Criteria	Participation (10%), Homework (20%), Quiz (10%), Mid-term and Final Exams (60%). Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome. This course syllabus is subject to change.			

Course Title	Japanese 3 Grammar		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 2 <sup>nd</sup> period Fall: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msak	No.3-7 ai@oita-u.ac.j	р
Aims		lapanese and	ese course. The course aims to review and d systematically develop the patterns of uations common in daily life.
Learning Outcomes	<ol> <li>Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life.</li> <li>Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality.</li> <li>Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation.</li> <li>Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics.</li> </ol>		
Content	1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people  [Specific modes of teaching to enhance students' learning]  Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	J Bridge to Intermediate Japanese,	Bonjinsha	
References	Recommended: A Dictionary of Inte	rmediate Japa	anese Grammar, The Japan Times
Assessment Criteria	Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, class performance, etc. 20%. It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enrollment. Other students must pass a placement test in order to enroll. Japanese 3 Grammar and Conversation are co-requisites.		

Course Title	Japanese 3 Conversation		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring & Fall: Wednesdays 2 <sup>nd</sup> period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msaka		
Aims		Japanese and	se course. The course aims to review systematically develop the patterns of ions common in daily life.
Learning Outcomes	<ol> <li>Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life.</li> <li>Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality.</li> <li>Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation.</li> <li>Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics.</li> </ol>		
Content	1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people  [Specific modes of teaching to enhance students' learning]  Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	J Bridge to Intermediate Japanese, E	Bonjinsha	
References	Recommended: A Dictionary of Inter-	mediate Japan	ese Grammar, The Japan Times
Assessment Criteria	Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, class performance, etc. 20%. It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enro in order to enroll. Japanese 3 Gran		r students must pass a placement test ersation are co-requisites.

Course Title	Japanese 3 Reading II		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 1 <sup>st</sup> period
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ad	c.jp	
Aims	Read short sentences at the first	intermediate level ab	out Japan and understand them.
Learning Outcomes	Understand the structure of search for necessary informations. Learn the proper usages of coal. Learn about Japanese life and	tion in sentences quic injunctions and adver	
Content	<ol> <li>Guidance</li> <li>Living in Japan 1</li> <li>Living in Japan 2</li> <li>Living in Japan 3</li> <li>Living in Japan 4</li> <li>Living in Japan 5</li> <li>Living in Japan 6</li> <li>Mid-term Exam</li> <li>Understanding Japan 1</li> <li>Understanding Japan 2</li> <li>Understanding Japan 3</li> <li>Understanding Japan 4</li> <li>Understanding Japan 5</li> <li>Understanding Japan 6</li> <li>Review</li> <li>Final Exam</li> <li>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</li> </ol>		
Recommendation for Private Study	Students are expected to review after every class.		
Textbooks	Handouts will be distributed every time.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, Quizz ( 30%), Mid-term exam ( 30%), Final exam( 40%) Students required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese.		

Course Title	Japanese 3 Writing II			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com			
Aims	This course is designed to develop version familiar topics using first intermediate		writing 600~700 word-letter essays on aries, expressions, and grammars.	
Learning Outcomes	1.Be able to write Japanese compos     2.Understand sentence construction     and adverbs effectively.     3. Understand how to use traditional	and write sente	ences that uses conjunctions	
Content	1. Guidance 2. Asking for a favor 3. Writing an email 4. Asking for permission 5. Refusing 6. Writing a letter of thanks 7. Review 8. Mid-term Exam 9. My hometown 10. My special things 11. Past and Present 12. My Goals 13. Research 1 14. Research 2 15. Review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.			
Recommendation for Private Study	Review after every class. Preparation for presentation.			
Textbooks	Handouts will be distributed every cla	ass.		
References	References will be given as needed.			
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (20%), Presentation (15%), Exams (55%)			
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Extensive Reading in Japanese			
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 4 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msaka	o.3-7 i@oita-u.ac.jp		
Aims	This course offers students at intermentance their reading skills as well a extensive reading with short stories materials written for native speakers	as developing th written for learn	ne pleasure of reading utilizing	
Learning Outcomes	In this course, the emphasis is put on acquiring the skill to enjoy the contents without translation. Gradually shifting to the materials of higher levels, students will find themselves absorbing the contents without translating each words or sentences into their native language. Through this course, students will develop general language competence, knowledge of vocabulary, prediction skills, as well as writing and speaking skills.			
Content	Students are guided to read as many pages as possible without using dictionaries while the instructor carefully monitors their reading behavior and gives advice and suggestions to improve their reading skills.  Week 1 Introduction and orientation Week 2 extensive reading Week 3 oral book report and extensive reading Week 4 oral book report and extensive reading Week 5 oral book report and extensive reading Week 6 oral book report and extensive reading Week 7 oral book report and extensive reading Week 8 writing a story Week 9 oral book report and extensive reading Week 10 oral book report and extensive reading Week 11 oral book report and extensive reading Week 12 oral book report and extensive reading Week 13 preparation for the presentation of book trailer Week 14 presentation Week 15 presentation  [Specific modes of teaching to enhance students' learning] Each students give an oral book report in their small group every week followed by the question and answer session.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to read books.			
Textbooks	Materials including Nihongo Tadoku Books, Japanese Graded Readers, and Genki Japanese Readers to be provided in class.			
References	"Extensive Reading" (http://extensive	ereading.net/)		
Assessment Criteria	Number of books (20%), Reading log (20%), Oral book reports (10%), Writing a story (15%), Presentation (25%), Participation and class performance (10%)			
Supplementary Information	Students must pass level 3 or higher	in the placeme	ent test to be admitted to this course.	

Course Title	Japanese 4 Grammar II			
Lecturer	OTSUBO, Minako Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac	c.jp		
Aims	This course is designed to impro	ve intermediate-level	grammatical knowledge further.	
Learning Outcomes	Understand the meaning and use expressions and use them accur		evel grammar points and	
Content	The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar I. Lessons 7 through 16 will be covered in this course.  1. Guidance, Diagnostic test, etc. 2. Structure of complex sentences 1 3. Noun modification 4. Expressions that form complex sentences 2 6. Expressions that form complex sentences 2, 3 7. Expressions that form complex sentences 3 8. Mid-term Exam 9. Expressions to deny something 10. Conveying subjective information 1 11. Conveying subjective information 1 12. Conveying subjective information 2 13. Adverbs that are used like idioms 14. Adverbs that are used like idioms 15. Conjunctions 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.			
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten Seiri Pointo 20 " (3A-Network)			
References	References will be given as needed.			
Assessment Criteria	Participation, homework (30%), Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.			

Course Title	Japanese 4 Speaking			
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 1 <sup>st</sup> period Fall: Wednesdays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msaka	o.3-7 i@oita-u.ac.jp		
Aims	The second semester course of Intermediate Spoken Japanese. The course aims to develop the speaking and listening ability to communicate in various situations commonly encountered at the university level. In this course, students go to town with group members to gather information by interviewing local people and get a better understanding about Oita and Japan.			
Learning Outcomes	<ol> <li>Students acquire practical communicative competence and will enable to use appropriate expressions and speak accurately and actively on general topics.</li> <li>Students enable to speak in a length of a several paragraphs.</li> <li>Students enable to use both formal and informal styles properly.</li> <li>Improve students' listening comprehension.</li> </ol>			
Content	The major functions or situations to be covered in the first half of this course are:  1. Introduction and orientation 2. borrowing 3. accepting and declining an invitation 4. asking for permission 5. changing an appointment 6. explaining how to use 7. speech 8. Mid-term exam In the latter half, students work with their group members for the final project. 9. my favorite Oita (1) making up questionnaire on a topic students chose 10. my favorite Oita (2) interview to Japanese students or local people 11. my favorite Oita (3) analysis of the interview 12. my favorite Oita (4) field research on their topic 13. my favorite Oita (5) preparation for the presentation 14. my favorite Oita (6) presentation 15. oral Exam  [Specific modes of teaching to enhance students' learning]  Various activities such as pair work, role-playing, speech, group work are designed for students to acquire communicative competence in Japanese. Students get feedbacks on their errors individually to help them aware of their errors and correct them by themselves.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening, making dialogues, preparing for speeches and a group project, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.			
Textbooks	Speaking Skills Learned through Listening: Japanese "Live" Intermediate & advanced Level, Kurosio			
References	15 Communication Tips for Becomin	g a Good Spea	oker and Listener, ASK Publishing	
Assessment Criteria	Midterm exam 30%, oral exam 10%, presentation 15%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, final project 15%, class performance, etc. 10%.			
Supplementary Information	Japanese 3 is a prerequisite. Other applicants must pass a placement test to be admitted to this course. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to join the final project.			

Course Title	Japanese 4 Reading II				
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	OSAKA, Yasumi Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 2 <sup>nd</sup> Period		
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com				
Aims	Students will acquire intermediate-advanced level vocabulary and expressions while reading various genres such as articles, novels, essays, and haiku, and acquire reading comprehension skills. Through these readings, they will not only deepen their understanding of Japanese society and culture, but also gain the ability to think for themselves on the themes.				
Learning Outcomes	<ol> <li>To be able to read cohesive texts</li> <li>To accurately understand informations.</li> <li>To develop critical thinking skills understand.</li> </ol>	tion and the au	thor's thoughts.		
Content	3. To develop critical thinking skills using the acquired knowledge from the course content.  1. Orientation / Article ① 2. Essay ① 3. Article ② 4. Essay② 5. Essay③ 6. Article ③-1 7. Article ③-2 8. Test I 9. Poem 10. Novel ① 11. Article ④-1 12. Article ④-2 13. Novel ② 14. Essay④ 15. Test II  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students read the works of writers who are also popular overseas (Haruki M., Banana Y., Kenzaburo O., etc.) and consider the issues and themes raised in the text as their own issues and have their own perspective through research and discussion.				
Recommendation for Private Study	Students do weekly preparations and assignments. Review new vocabulary to be quizzed on regularly.				
Textbooks	To be prepared and provided by the le	ecturer.			
References	Chu-jo kyu gakushusha muke Nihonbunka o yomu, ALC, 2012				
Assessment	Test I (35%), Test II (35%), Assign	ments (15%), \	Word quiz (15%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.				

Course Title	Japanese 4 Writing II			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 1 <sup>st</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.c	com		
Aims		n various then	derstand and detailed essays by learning nes. They will also learn the basics of writing	
Learning Outcomes	1.To be able to write easy-to from the course themes. 2. To be able to explain some 3. To be able to write logical relationships.	what complicat		
Content	1. Orientation 2. Self-introduction 3. Travel (formal style) 4. Cross-cultural understanding 5. Children's play 6. Buildings 7. Jobs 8. Peer reading ① 9. Logical writing 10. Quoting 11. Expressing graphs 12. Writing about social issues 13. Writing appropriate sentences 14. Basic knowledge to write academic reports 15. Peer reading ② / Summary  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Themes that students want to write on are selected. Students overcome their weaknesses in writing by discussing and writing while having fun. In addition, They will learn writing skills from each other and improve their level through peer reading.			
Recommendation	Students write a composition	every week.		
Textbooks	To be prepared and provided	by the lecturer.		
References	Daigaku de manabu tameno nihongo raityingu, Japan times, 2006 Kakukoto o tanoshimu chukyusakubun, Bonjinsha, 2020 Nihongo o manabuhito no tameno Akademikku raityingu koza, ASK, 2020			
Assessment	Interim report (30%), Final report (30%), Assignments (40%)			
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final report.			

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese II			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims		to put their a	panese language skills. It places an already acquired Japanese skills into nvironments.	
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills learning how to fluently express their		in discussions in Japanese, as well as and analysis in Japanese.	
Content	1. Orientation 2. Learning from media materials 1 3. Learning from media materials 2 4. Learning from media materials 3 5. Learning from media materials 4 6. Learning from media materials 5 7. Learning from media materials 6 8. Learning from media materials 7 9. Learning from media materials 8 10. Independent Project 1 11. Independent Project 2 12. Independent Project 3 13. Independent Project 4 14. Presentaion, comments 15. Presentation, comments 16. Final Exam  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.			
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.			
References	References will be given as needed.			
Assessment Criteria	Participation ( 20%), Project ( 30%), Assignments ( 20%) Examination ( 30%)			
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Japanese 5 Speaking			
Lecturer	OTSUBO, Minako Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 1 <sup>st</sup> period Fall: Wednesdays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	This course is for advanced learners	. It is designed	to improve speaking skills.	
Learning Outcomes	Students will be able to do the following:  1. To deliver a 3-minute speech composed of many paragraphs.  2. To describe and explain complicated matters. etc.  3. To speak appropriately in a polite manner.  4. To discuss accepting different thoughts and opinions, etc.			
Content	<ol> <li>Guidance</li> <li>Introducing yourself effectively</li> <li>How I started to do ~</li> <li>Talking about your experience of losing something</li> <li>Talking about your home town</li> <li>Explaining the sequence of movement 1</li> <li>Explaining the sequence of movement 2</li> <li>Mid-term Exam</li> <li>Talking about the interesting aspects of your hobby, sports, and the like</li> <li>Paraphrasing</li> <li>Comparing and contrasting 1</li> <li>Comparing and contrasting 2</li> <li>Talking about your health</li> <li>discussing social matters 1</li> <li>discussing social matters 2</li> <li>Final Exam</li> <li>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</li> <li>Time for discussion, and peer-teaching will be allotted in class.</li> </ol>			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at leaster the class.	ast 2 hours per	week on homework and reviewing	
Textbooks	Handouts will be distributed every tir	ne.		
References	Nihongo jookyuu washa e no michi, 3A-Network			
Assessment Criteria	Participation, homework (30%), Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	This course is for students whose proficiency level in Japanese is 5 according to the result of the CIER placement test or students who have successfully completed Japanese 4 Speaking Course (Grade B or above).			

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing II		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 1 <sup>st</sup> Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msaka	o.3-7 i@oita-u.ac.jp	
Aims	This course aims to introduce academic papers and modern Japanese literature in the original, and which are different from the texts provided in Japanese 5 Reading/Writing I, in order to develop a higher level of reading competency. Students will learn the basic skills of academic writing as well.		
Learning Outcomes	<ol> <li>Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields.</li> <li>Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly.</li> <li>Students read modern Japanese literature and enable to explain the content.</li> <li>Students learn the structures of paragraphs, and enable to write summaries and opinions.</li> </ol>		
Content	I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings:  1. written language  2. structures of a paragraph  3. outline and complex sentences  4. theory evolution and sentence structure 1  5. theory evolution and sentence structure 2  6. summary  7. Exam 1  II. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions.  8-11. Fiction reading  12. Exam 2  III. Writing: structures each week include the followings:  13. learn fundamental way of writing papers  14. learn how to describe situation and express opinions  15. learn how to write cohesive summaries  [Specific modes of teaching to enhance students' learning]  Feedbacks of compositions will be given by both a peer and the instructor in order to help students to rewrite compositions.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.		
Textbooks	Japanese for International College / Graduate Students 3: Reading Essays, ALC		
References	Japanese for International College / Graduate Students 4: Writing Essays, ALC		
Assessment Criteria	Exam 1 30%, Exam 2 30%, composition 20%, homework 10%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	Eligibility to enroll in this course will be determined based on the results of the placement test. Japanese 5 Reading/Writing I is not a prerequisite. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Grammar II			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 1st period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail	.com		
Aims			erly use intermediate and advanced grammar e various expressions in daily conversation and	
Learning Outcomes	To learn advanced level (No. 2. To understand the meaning 3. To use those similar expressions.)	g and usage of		
Content	1. Orientation / Comparison 2. Status 3. Illustrative 4. Emotions 5. Criteria 6. Position 7. End 8. Test II 9. Possibility / Difficult and Easy 10. Will 11. Judgment 12. Denial 13. Iteration 14. Others 15. Test I  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students make short sentences using the learned sentence patterns and write them on the board so that they can correct each other. If there is any misuse, they will think about it in			
Recommendation	Students prepare, review and	d submit weekl	y assignments.	
Textbooks	To be prepared and provided	d by the lecture	r.	
References	Donna toki tsukau Nihongo hyogen bunkei jiten, ALC, 2010 Kurabete wakaru Nihongo hyogen bunkei jiten, J-research, 2008 Ikita reibun de manabu Nihongo hyougen bunkeijiten, ASK, 2008			
Assessment	Test I (40%), Test II (40%)	, Assignments (	(20%)	
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at N2 of JLPT is a prerequisite. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.			

Course Title	Independent Research Project I		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 5 <sup>th</sup> period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag		
Aims	This course will provide students field in which students have been		arch skills and experience in the
Learning Outcomes	Students will gain further knowl chosen for the research project.	edge and understan	ding of the area that they have
Content	Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester.  The procedure is as follows:  1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester);  2. Make a project plan with your supervisor;  3. Engage in the research under the guidance of your supervisor;  4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  Weekly assignments and tests are given in order to assist students to acquire grammar. A supervisor is able to monitor his student's progress.		
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they should work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.		
Textbooks	None.		
References	To be provided by supervisor.		
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100% Note: Penalties will be incurred for late submission.		
Supplementary Information	Important Note: Students should by the first Friday of the Semeste		their proposal with Prof. Nagaike

Course Title	Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students				
Lecturer	Instructors of GAIA	Faculty	GAIA		
Credit	To be announced	Timetable	To be announced		
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor				
Aims	Scholarship holders. Students study	This is a six-month beginners' Japanese course for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders. Students study the basic Japanese to acquire listening, speaking, reading and writing skills. Basic English language ability is required. All seven classes are co-requisites.			
Learning Outcomes	<ul> <li>To learn basic daily conversation s</li> <li>To be able to read and write hiraga</li> <li>To be able to read and write short</li> </ul>	ana, katakana,	and basic kanji		
Content	Grammar, expression, and vocabulary will be taught in close relationship to the associated language functions. Some of the major functions to be covered in this course are:  1. greetings 2. self-introduction 3. counting and telling time 4. shopping 5. telling your schedule 6. making a plan 7. inviting 8. describing location 9. telling what you did 10. expressing likes and dislikes 11. telling reasons 12. making requests 13. giving permission 14. prohibiting 15. identifying people  [Specific modes of teaching to enhance students' learning] Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to				
Recommendation for Private Study	Revision and preparation of each lesson.				
Textbooks	Genki I: An Integrated course in Elementary Japanese, The Japan Times Genki I Workbook, The Japan Times				
References	Recommended: A Dictionary of Ba	sic Japanese G	Grammar, The Japan Times		
Assessment Criteria	Spoken test 30%, Weekly tests and Assignments 30%, Final Exam 40%				
Supplementary Information	This course is offered for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders (Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students).				

Course Title	Japanese 1 Reading		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 2 <sup>nd</sup> period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag		
Aims	It aims at helping learners read a	and write the complete	e range of basic kanji characters.
Learning Outcomes	Students will acquire Hiragana, k comprehend short paragraphs co		nji. They will be able to write and y assigned-kanji.
Content	Week 1: Introduction of Hiragana (practice). Week 2: Introduction of Katakana (practice) and Lesson 1 (vocabulary/Grammar). Week 3: Lesson 2 (vocabulary/Grammar). Week 4: Lesson 3 (vocabulary/Grammar). Week 5: Lesson 4 (vocabulary/Grammar). Week 6: Lesson 5 (vocabulary/Grammar). Week 7: Lesson 6 (vocabulary/Grammar). Week 8: Lesson 7 (vocabulary/Grammar). Week 9: Lesson 8 (vocabulary/Grammar). Week 10: Revision of Lessons 1-8 (vocabulary/Grammar). Week 11: Lesson 9 (vocabulary/Grammar). Week 12: Lesson 10 (vocabulary/Grammar). Week 13: Lesson 11 (vocabulary/Grammar). Week 14: Lesson 12 (vocabulary/Grammar). Week 15: Revision of all lessons (vocabulary/Grammar). (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given to assist students to acquire Kanji.		
Recommendation for Private Study	Revision of the weekly-introduced Kanji is very important. Practice reading and writing the Kanji daily until you feel confident.		
Textbooks	An Introduction to Elementary Japanese (Genki I); Third Edition; The Japan Times. (The Second Edition of the Book should not be acceptable.)		
References	A dictionary of basic Japanese grammar, The Japan Times. Japanese-English Learner's Dictionary, Kenkyusha.		
Assessment Criteria	Weekly Tests 20% Weekly Assignments 20% Mid-term Examination 20% Final Examination 40%. It is a requirement that a student should attend more than 70 % of the class time to be eligible for the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.		

Course Title	Japanese 2 Reading			
Lecturer	MIYAMA, Michisuke	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 2 <sup>nd</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: shenshan@hotmail.com			
Aims	This course aims to enable stude elementary Japanese to acquire new		completed the second-level unit of ssions, and kanji written characters.	
Learning Outcomes	<ul> <li>To read and write the basic 300 Ka</li> <li>To learn words utilizing the basic K</li> <li>To read short essays (in the textbo</li> <li>To write paragraphs</li> </ul>	(anji		
Content	1. Orientation & Review (1) 2. Review (2) 3. Interesting Experiences in Japan (1) 4. Interesting Experiences in Japan (2) 5. Personal Advice Column 6. My Favorite Place 7. The Manga Doraemon 8. Mid-term Exam 9. Yoko Ono 10. College Life 11. Letters and E-mails 12. A Cat's Plate 13. Unlucky Ages 14. Tomomi's Diary 15. What Does This Face Mean? 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to take a Kanji quiz each week. This will enhance students' ability to use their newly acquired written and oral vocabulary			
Recommendation for Private Study	At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required. Students are expected to come to class fully (at least adequately) prepared.			
Textbooks	Genki II : An Integrated Course in Ele	ementary Japar	nese, The Japan Times	
References	New Japanese-English Character Dictionary, Kenkyusha A Dictionary of Basic Japanese Grammar, The Japan Times			
Assessment Criteria	Participation (10%), Homework (20%), Quiz (10%), Mid-term and Final Exams (60%). Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome. This course syllabus is subject to change.			

Course Title	Japanese 3 Reading I			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	Read short stories at the first interme	ediate level abo	out Japan and understand them.	
Learning Outcomes	Understand the structure of sentences.     Search for necessary information in sentences quickly.     Learn the proper usages of conjunctions and adverbs.     Learn about Japanese life and culture.			
Content	1. Guidance 2. story 1 3. story 2 4. story 3 5. story 4 6. story 5 7. story 6 8. Mid-term Exam 9. story 7 10. story 8 11. story 9 12. story 10 13. story 11 14. story 12 15. review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work or group-work will be allotted in class.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to review after every class and to prepare for the quiz every time.			
Textbooks	Handouts will be distributed every time.			
References	References will be given as needed.			
Assessment Criteria	Participation, Quizz ( 30%), Mid-term exam ( 30%), Final exam( 40%) Students required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese.			

Course Title	Japanese 3 Writing I		
Lecturer	MIYAMA, Michisuke	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 2 <sup>nd</sup> period
Lecturer's Office	Email: shenshan@hotmail.com		
Aims			omposition of approximately 600 words on vocabulary at the beginner to intermediate
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to  (1) Read and write approximately 700 <i>kanji</i> characters;  (2) Write a composition of around 600 words on specific topics without using a dictionary;  (3) Acquire the skills to sustain a conversation for several minutes on the aforementioned topics.		
Content	1. Orientation and Self-Introduction 2. Shopping 3. Travel 4. Grammar Review and Reading 5. Health Management 6. Food and Cooking 7. Sports 8. Grammar Review and Reading 9. Midterm Test 10. Hometown Pride 11. Marriage 12. Festivals 13. Grammar Review and Reading 14. Speech Preparation 15. Speech Presentation 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Starting from conversation and progressing towards essay writing, the approach adopted by this course involves assigning small composition tasks in each session. This method aims to gradually and sustainably develop writing skills.		
Recommendation for Private Study	Review after class, as well as the	creation of co	ompositions, is mandatory.
Textbooks	SAWADA, Sachiko et al. (2011) A	lihongo Oshal	beru no Tane 2ed Ed. Tokyo: 3A Network.
References	References will be given as need	ed.	
Assessment Criteria	Assignment (20%), Speech (20%), Mid-Term Test (20%), EoT-Exam (40%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 4 Grammar I			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims	This course is designed to improve in	ntermediate-lev	vel grammatical knowledge further.	
Learning Outcomes	Understand the meaning and usage and use them accurately.	of intermediate	-level grammar points and expressions	
Content	The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar II. Lessons1 through 6 and Lessons17 through 20 will be covered in this course.  1. Guidance 2. Particles with various functions 3. Topicalization 4. Phrases used like grammatical particles 1 5. Phrases used like grammatical particles 1, 2 6. Phrases used like grammatical particles 2 7. Phrases used like grammatical particles 3 8. Mid-term Exam 9. How to nominalize verbs and adjectives 1 10. How to nominalize verbs and adjectives 2 / Expanding your vocabulary 1 11. Expanding your vocabulary 2 / Formal sentences 1 12. Formal sentences 2 / Polite expressions 1 13. Polite expressions 2 14. Cohesion in conversation and written language 1 15. Cohesion in conversation and written language 2 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.			
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten	Seiri Pointo 20	) " (3A-Network)	
References	"A Dictionary of Basic Japanese Grammar" (The Japan Times) "A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar" (The Japan Times)			
Assessment Criteria	Participation, homework ( 30%), Mid-term exam ( 30%), Final exam( 40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.			
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.			

Course Title	Japanese 4 Reading I		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 2 <sup>nd</sup> period
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com		
Aims	newspaper articles, data, etc. on seve	eral themes. Als	ead academic texts by reading essays, so, through reading activities, they will not so gain the ability to think for themself on
Learning Outcomes		on and data. nd comprehend	s. I the content and main points of texts. It knowledge from the course content.
Content	1. Orientation 2. Meeting people ① 3. Meeting people ② 4. Thinking about the difference ① 5. Thinking about the difference ② 6. Getting used to life ① 7. Getting used to life ② 8. Test I 9. Children and education ① 10. Children and education ② 11. Children and education ③ 12. Youth sensibility ① 13. Youth sensibility ② 14. Youth sensibility ③ 15. Test I II  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will expand their knowledge through reading material and data. They will also discuss		
Recommendation for Private Study	Students should do weekly preparati quizzes.	ons and assigi	nments, as well as reviews prior to word
Textbooks	To be prepared and provided by the le	ecturer.	
References	Chukyu nihongo kyokasho watashi no mistuketa nihon, Tokyodaigakushuppan, 2013 Chu-jokyu nihongo kyokasho Nihon e no shotai, Tokyodaigakushuppan, 2008		
Assessment	Test I (35%), Test II (35%), Assignments (15%), Word quiz(15%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.		

Course Title	Japanese 4 Writing I			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 1 <sup>st</sup> period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com			
Aims	reports, presentation manuscripts	, emails, etc.).	rts according to their purpose (academic To that end, they learn expressions and lation and how to write logical sentences.	
Learning Outcomes	1.To be able to write sentences a manuscripts, emails, etc.). 2. To be able to explain some som 3. To be able to write logical reports.	ewhat complica		
Content	1. Orientation / Self-introduction 2. Hometown introduction 3. How to write emails ①: Formal email, basic expressions 4. How to write emails ②: Email according to the situation 5. Recommend favorites 6. Advice: Study abroad life in Oita 7. Peer reading ① 8. Formal written Japanese 9. Explaining differences 10. Reporting events 11. Explaining origins and meanings 12. Expressing an opinion 13. Thinking about logical connections: Conjunctions and demonstrative pronouns 14. Basic knowledge of writing reports 15. Peer reading ② / Summary  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will learn many useful and practical expressions. They will practice writing composition on a range of scenarios every week. In addition, through peer reading they will learn writing skills alongside their classmates and improve their writing ability.			
Recommendation	Students write a composition ever	y week.		
Textbooks	To be prepared and provided by the	ne lecturer.		
References	Ryugakusei no tameno kokogataisetsu bunshouhyougen no ruru, 3A Network, 2009 Shoronbun eno 12 no suteppu, 3A Network, 2008			
Assessment	Interim report (30%), Final report (30%), Assignments (40%)			
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji and have a vocabulary of 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final report.			

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese I			
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp			
Aims		to put their a	panese language skills. It places an already acquired Japanese skills into nvironments.	
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills learning how to express their own op		in discussions in Japanese, as well as llysis in Japanese.	
Content	<ol> <li>Orientation</li> <li>Learning from media materials 1</li> <li>Learning from media materials 2</li> <li>Learning from media materials 3</li> <li>Learning from media materials 4</li> <li>Learning from media materials 5</li> <li>Learning from media materials 6</li> <li>Learning from media materials 7</li> <li>Learning from media materials 8</li> <li>Independent Project 1</li> <li>Independent Project 2</li> <li>Independent Project 3</li> <li>Independent Project 4</li> <li>Presentaion, comments</li> <li>Presentation, comments</li> <li>Final Exam</li> <li>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</li> <li>Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.</li> </ol>			
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.			
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.			
References	References will be given as needed.			
Assessment	Participation ( 20%)、Project ( 30%)、Assignments ( 20%) Examination ( 30%)			
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.			

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing I				
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA		
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 1 <sup>st</sup> period		
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> flo TEL: 097-554-7516 En				
Aims			mic papers and modern Japanese literature, and empetency. Students will learn the basic skills of		
Learning Outcomes	in length step by step 2. Students learn the struthe content and get th 3. Students read modern	<ol> <li>Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields.</li> <li>Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly.</li> <li>Students read modern Japanese literature and enable to explain the content.</li> <li>Students learn the structures of paragraphs, and enable to write short paper.</li> </ol>			
Content	I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings:  1. written language  2. topic, main idea, and particles  3. main sentences and subordinate sentences, demonstrative phrases  4. quotation, conjunction  5. facts and ideas  6. paragraph construction  7. Exam 1  II. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions.  8-11. Fiction reading  12. Exam 2  III. Writing: structures each week include the followings:  13. learn fundamental way of writing papers  14. learn how to presenting topics  15. learn how to define and classify  [Specific modes of teaching to enhance students' learning]  Feedbacks of compositions will be given by both a peer and an instructor in order to help students to rewrite compositions.				
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.				
Textbooks	Japanese for Internationa	nl College / Gr	raduate Students 3: Reading Essays, ALC		
References	Japanese for Internationa	nl College / Gr	raduate Students 4: Writing Essays, ALC		
Assessment Criteria	Exam 1 30%, Exam 2 30%, composition 20%, homework 10%, class performance, etc. 10%.				
Supplementary Information			e determined based on the results of the placement more than 70% of the class time to be eligible to take		

Course Title	Japanese 5 Grammar I				
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA		
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 1 <sup>st</sup> period		
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com	1			
Aims			y use intermediate and advanced grammar arious expressions in daily conversation and		
Learning Outcomes	To learn advanced level (N1-N 2. To understand the meaning an 3. To use those similar expressions)	d usage of s			
Content	1. Orientation / Simultaneous 2. Start & end point 3. Incidental situation 4. Before and after 5. Adjunct 6. Conditions 7. Connect 8. Test I 9. Rationality 10. Forced 11. Feelings 12. State 13. Degree 14. Others 15. Test II  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students make short sentences using the learned sentence patterns and write them on the board so that they can correct each other. If there is any misuse, they will think about it in				
Recommendation	Students prepare, review and sul	omit weekly	assignments.		
Textbooks	To be prepared and provided by	the lecturer.			
References	Donna toki tsukau Nihongo hyogen bunkei jiten, ALC, 2010 Kurabete wakaru Nihongo hyogen bunkei jiten, J-research, 2008 Ikita reibun de manabu Nihongo hyougen bunkeijiten, ASK, 2008				
Assessment	Test I (40%), Test II (40%), Ass	ignments (2	0%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at N2 of JLPT is a prerequisite.  It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination.				

Course Title	Independent Research Project II			
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 5 <sup>th</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office TEL: 097-554-7953 Email: nagail			
Aims	This course will provide students will in which students have been engage		earch skills and experience in the field	
Learning Outcomes	Students will gain further knowledge for the research project.	ge and understand	ing of the area that they have chosen	
Content	Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester.  The procedure is as follows:  1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester);  2. Make a project plan with your supervisor;  3. Engage in the research under the guidance of your supervisor;  4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  A supervisor is able to monitor his student's progress.			
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.			
Textbooks	None.			
References	To be provided by supervisor.			
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100%  Note: Penalties will be incurred for late submission.			
Supplementary Information	Important Note: Students should p the first Friday of the Semester at t		f their proposal with Prof. Nagaike by	

9 (	oo Courses for	. To t arm ati ar	l and Ianana	as Chridants	
	es Courses for ther English,				

Course Title	Analysis of Japanese Grammar				
Lecturer	TOSAKA, Yasumi Faculty GAIA				
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> Period		
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com				
Aims		standing of Jap	us linguistic perspectives. Through this anese as a language and develop the general, not limited to Japanese.		
Learning Outcomes	To learn the basic idea of linguistics and apply it to the analysis of words and sentences.     To compare Japanese with other languages and explain the similarities and differences.     To propose a method to effectively teach Japanese as a foreign language.				
Content	1. Introduction: What is "Analysis of Japanese Grammar" 2. Analyzing Japanese from linguistics ① Language characteristics 3. Analyzing Japanese from linguistics ② Language function 4. Japanese in the world 5. Japanese grammar system ① Basic sentence patterns / Particles, etc. 6. Japanese grammar system ② Benefactive expression / Honorific 7. Japanese grammar system ③ Predicate structure and function 8. Japanese from the perspective of pragmatics ① 9. Japanese from the perspective of pragmatics ② 10. Examination 11. Japanese language teaching method ① Teaching material analysis 12. Japanese language teaching method ② Creating a lesson plan (1) 13. Japanese language teaching method ② Creating a lesson plan (2) 14. Japanese mock lessons ① 15. Japanese mock lessons ②  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Japanese students and international students form groups and analyze Japanese from various perspectives of linguistics. By presenting the results and experiencing a mock lesson that teaches Japanese, they will develop the ability to analyze the language objectively.				
Recommendation for Private Study	Students do weekly preparations and assignments. They prepare for group presentations and mock lessons.				
Textbooks	To be prepared and provided by the	lecturer.			
References	Nihongokyoshi no tameno oyoninchigengogaku, Bonjinsha, 2009 Nishongokyoshi no tameno nyumon gengogaku -Enshu to kaisetsu, 3A Network, 2016 Shin kokokara hajimaru nihongogaku, Hitsujishobo, 2016 Nihongokyoiku no stato rain, 3A Network, 2016				
Assessment	Final examination (50%), Mock les (10%)	son (30%), As	signments (10%), Class performance		
Supplementary Information	eligible for the final examination. I	n the case of	ore than 70% of the class time to be international students, knowledge of level 2 of the Japanese Language		

Course Title	Business Japanese Seminar 3: Current affairs II			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Thursday 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com			
Aims	towards developing and enhancing	not only their	ents. In the course, students will work reading skills but also describing and es, news and topics related mainly to	
Learning Outcomes	<ul> <li>Choose appropriate information</li> <li>Organize, summarize and accurately communicate the newspaper articles</li> <li>Communicate clearly the contents of newspaper articles</li> <li>Critique objectively on the newspaper articles</li> <li>Utilize appropriate objectively information and express opinions</li> </ul>			
Content	<ol> <li>Orientation and outline of course</li> <li>Significance of selecting media information (media literacy)</li> <li>Read newspaper articles</li> <li>Summarize newspaper articles after reading</li> <li>Critique on newspaper articles after readings</li> <li>Listen to news items</li> <li>Summarize news items after listening</li> <li>Critical listening</li> <li>Select information to describe and express opinions</li> <li>Presentations</li> <li>Feedback</li> <li>(Specific modes of teaching to enhance students' learning)</li> <li>Obtain appropriate information from web-based news and other sources, and investigate.</li> <li>Hold team discussions and debate.</li> <li>Record the presentations; obtain feedback via a self-evaluation rubric.</li> </ol>			
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.			
Textbooks	Economic news and movies from websites, newspaper articles and handouts			
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.			
Assessment Criteria	Participation & Homework (15%), Listening (10%), Reading & Writing (15%), Presentation (15%), Final exam (45%)			
Supplementary Information	The course is also open to other stud	dents.		

Course Title	Business Japanese Seminar 4: Job search			
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty GAIA		
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 2 <sup>nd</sup> period	
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail.com			
Aims		ecessary speal	ents. In the course, students will work king and conversational skills together rstanding and analyzing themselves.	
Learning Outcomes	<ul> <li>Utilize various resources in collecting information</li> <li>Summarize information and communicate comprehensively</li> <li>Conduct conversation in business settings</li> <li>Formulate and write business documents (E-mail or documents)</li> </ul>			
Content	1. Orientation and outline 2-3. Industry, occupation and the company 4. Decide a subject corporation for research 5. Formulate a project plan by the team 6-9. Collect data and conduct online or e-mail negotiations 10-13. Summary and report writing 14. Presentations 15. 15. Feedback  (Specific modes of teaching to enhance students' learning)  • In a team, research a company, negotiate, visit the company, and conduct an interview.  • In addition to creating a team report, also create an individual report.			
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.			
Textbooks	Handouts			
References	Japanese dictionaries, other. To be in	nstructed in cla	SS.	
Assessment Criteria	Participation (10%), Tasks (20%), Presentations (25%), Final exams (45%)			
Supplementary Information	The course is also open to other stud	dents.		

Course Title	City Project: Oita & Beppu			
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 3 <sup>rd</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office NTEL: 097-554-7635 Email: keizo-		c.jp	
Aims	attract people. The focus of the ana	lysis includes th	ty and Beppu City into urban areas that ne business central area around JR Ōita eppu Station's East Exit, and the tourist	
Learning Outcomes	In this course, participants will examine the current state of Ōita City and Beppu City through discussions with international students and develop proposals for creating vibrant and engaging communities. The discussion topics are as follows:  (1) Characteristics of the business central area in Ōita City,  (2) Characteristics of the business central area in front of JR Beppu Station's East Exit,  (3) Characteristics of Kannawa in Beppu City,  (4) Changes in the tourism industry following the collapse of the bubble economy.			
Content	Station's East Exit Session 10: Strategies to attract visit Session 11: Field trip 2 (tentatively to East Exit and the Kannawa district) Session 12: Drafting a promotion plat Session 13: Presentation 2  (Specific modes of teaching to enh The progress of participants in a discussions, and the pace of the co that participants have not fully under will be implemented to ensure no or	ate of Ōita City's port in Akashi City's contine the field tripto Toita City)  Toaches and Bests, local delications to the East of the business of the business of the East could be acceptable to the business of the busines	entral business area City entral business area Eppu cies, and hot springs in front of JR Beppu t Exit area of JR Beppu Station eentral area in front of JR Beppu Station's	
Recommendation for Private Study	2 hours weekly will be needed for class preparation, and 3 hours for reviewing lecture contents.			
Textbooks	Handouts to be provided in class.			
References	A list of references to be provided in	ı class		
Assessment Criteria	Presentation 1 (25%), Presentation 2 (35%), Assignments (6%×5 Times), Class Participation (10%)			
Supplementary Information		ce in class mus	nglish, with Japanese being the primary at be 70% or higher. Participation in both is equivalent to two class sessions.	

Course Title	Japanese Popular Culture Studies			
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 3 <sup>rd</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag			
Aims	The contemporary debate about Japanese popular culture has provided various important perspectives from which to deal with questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine a variety of Japanese popular cultural materials—e.g. pre-modern Japanese popular culture, <i>Japanimation</i> (Japanese animations), pop idols, 2.5 dimension, <i>ranobe</i> (light novels), films, et cetera, and discuss the impact of these genres within both the Japanese socio-cultural and global contexts. We will discuss works which have been labeled as belonging to the Japanese aesthetic 'canon' of each period and examine the major recurring (literary and artistic) themes in these works.			
Learning Outcomes	<ol> <li>Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures.</li> <li>Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture.</li> <li>Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular).</li> </ol>			
Content	1) Introduction to Japanese Popular Culture 2) Soft Power 3) History of Kawaii 4) Shō in Anime 5) War in Anime 6) Anime Pilgrimate 7) Group Project (1) 8) Pop Music and Idols 9) Live Action BL Dramas 10) Voice Actor 11) 2.5 Dimension 12) Isekai 13) 14) Group project 15) Review (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching: lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.			
Textbooks	To be prepared and provided by	Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.			
Assessment	Participation: 20% Presentation	n: 30% Examination	: 50%	
Supplementary Information				

Course Title	Japanese Aesthetics and Fashion Media Studies			
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty GAIA		
Credit	2	Timetable	Spring: Fridays 4 <sup>th</sup> Period Fall: Tuesdays 4 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7635 Email: keizo-r	o.3-5 nanri@oita-u.ad	c.jp	
Aims	has evolved over the past 100 year economics and popular culture, esp	s, from 1920 to ecially music.	fashion of Japanese women aged 20±3 o 2020, with a focus on the history of However, regarding the emergence of ransformation in men's fashion will also	
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to 1. Acquire the ability to explain the transformation of clean-cut fashion for women in Japan over the past 100 years. 2. Have a good understanding of the relationship between economic conditions and the glamour of fashion. 3. Have a sound understanding of how the history of popular music, particularly from the United States and the United Kingdom (rock and hip-hop genres), is related to fashion trends in Japan.			
Content	1. Orientation, Basics of Fashion and Popular Music 2. History of Blues and African Americans, Historical Development of Girls' Outfits in Japan 3. Birth of Moga Fashion (Swing Jazz Era) 4. History of Jeans (Anti-war Folk Song Movement Era) 5. Birth of Men's Clean-Cut Ivy Look (Beatles and Modern Jazz Era) 6. Summary and Discussion 1 7. History of Black Leather Jacket-Based Outfits (Rock 'n' Roll Era) 8. Establishment of Women's Clean-Cut Fashion (Soft Rock-New Music Era) 9. Ambitious High School Student Shibukaji Fashion (Eurobeat-Hip-Hop Era) 10. Summary and Discussion 2 11. Excessive Gal Fashion (Eurobeat Era) 12. Emergence of Konsaba Fashion (Era of Songstresses) 13. Evolution of Lolita Fashion and the Emergence of Jiraikei Fashion 14. Women Hard Rockers and Underground Female Idol Costumes (Hard Rock-Heavy Metal, and Adolescent Song Era) 15. Summary and Discussion 3 16. Final Exam  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course consists of three lectures followed by one tutorial session ('Summary and Discussion') to confirm the participants' understanding of the lecture content. Additionally, after each lecture, about 15 minutes are allocated for summarization, during which participants answer quizzes to reinforce the understanding and retention of the course			
Assessment	Lecture Summary: 10% × 3 Times, F	articipation: 20	%, Final Examination: 50%	
Supplementary Information		ummaries and	e is English. Participants can choose the final exam. Let's actively engage in	

Course Title	Introduction to Japanese History, Culture and Society				
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi Faculty GAIA				
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 3 <sup>rd</sup> Period		
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag				
Aims	This is an introductory course designed for international students to acquire basic knowledge of Japan (history, culture, and society). In this course, we will attempt to understand the kinds of ideological concept which are required to cultivate intercultural communication within Japanese socio/cultural context; this will mainly involve discussing such issues as Japanese ways of thinking, the structure of Japanese society, and so forth.				
Learning Outcomes	Becoming familiar with Japanese history     Understanding the specific nature of Japanese society and culture     Discussing the socio-cultural situation in contemporary Japan, based on our understanding of pre-modern Japan				
Content	1) Orientation 2~4) History of Japan 5~7) The Analysis of Japanese Society and the Psychology of Japanese People (honne and tatemae, uchi and soto, giri, shudanishiki, senpai and kohai, amae, etc) 8) Family and the Concept of Ie 9) Japanese Companies and Labor Relations 10) Nationalism and Imagined Community 11) Multiculturalism (e.g. issues of Ainu people) 12) Japanese Pre-modern Literature and Aesthetics 13) Japan in Asia and in the World (e.g. issues of Yasukuni Shrine) 14~15) Group Project (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.				
Assessment Criteria	Participation: 20% Quiz: 20% Group Project: 20% Examination: 40%				
Supplementary Information					

Course Title	Gender and Sexuality			
Lecturer	SUGANUMA, Katsuhiko Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 4 <sup>th</sup> period Fall: Wednesdays 3 <sup>rd</sup> period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-6171	lo.3-3		
Aims	This unit analyses gender- and sexuality-related cultures in Japan. Drawing on various case studies, students examine how gender and sexual equity have been implemented or otherwise in contemporary Japanese society. Employing an intersectional view of race, ethnicity, class, and ableism, this unit develops the skills of critically analysing a monolithic perception of Japan.			
Learning Outcomes	Completing this unit, students will be able to:  1. understand the basic principles of gender and sexuality studies  2. examine the issues of discrimination and inequality in contemporary Japanese society  3. employ an intersectional analysis for understanding social and cultural phenomena			
Content	Week 1: Introduction – concepts, ideas, and initiatives Week 2: Introduction – concepts, ideals, and initiatives Week 3: Gender Week 4: Sexuality Week 5: Popular culture Week 6: Time and space Week 7: Race Week 8: Mid-semester review Week 9: Religion Week 10: Manga/Animation Week 11: Food Week 12: Music Week 13: Sports Week 14: Neuro-diversity Week 15: Conclusion			
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework.			
Textbooks	To be provided by an instructor			
References	To be provided by an instructor			
Assessment Criteria	Discussion entries (30%); mini lecture (20%), research proposal (10%); research paper (40%)			
Supplementary Information	Students are required to attend more this unit.	e than 70% of th	he classes to be eligible for completing	

Course Title	Japanese Grammar and Discourse			
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty GAIA		
Credit	2	Timetable	Spring: Mondays 3 <sup>rd</sup> Period Fall: Fridays 4 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7635 Email: keizo-r	lo.3-5 nanri@oita-u.ad	e.jp	
Aims	This course aims to explore the Japanese language from two perspectives: sentence construction and discourse construction. Sentential exploration will focus on 5 case markers (o, ni, to, e, de), the topic marker wa, the subject marker ga, and serial verb construction. Discourse exploration will be conducted from the perspective of schema.			
Learning Outcomes	By the end of the semester, students are expected to enhance their linguistic performance in Japanese by understanding (a) the function of the aforementioned 5 case particles, (b) the mechanism of Japanese serial verb construction, (c) how the particle wa contributes to text construction, and (d) some Japanese methods of text creation, which will be explored from the perspective of schema.			
	Week 1: Orientation & Overview of the Japanese Language. Week 2: Parts of Speech. Weeks 3-7: Experiential Function and Sentence Structure I. Week 8: Presentation 1. Week 9: Experiential Function and Sentence Structure II. Weeks 10-12: Interpersonal Function and Serial Verbal Construction. Weeks 13-14: The Function of <i>Wa</i> , Text Structure, and Japanese Culture. Week 15: Presentation 2.			
Content	(Specific Teaching Methods to Enhance Student Learning) The class is conducted interactively, with a strong emphasis on discussion. Two or three topics are presented for discussion in each session. Students are encouraged to analyze provided data and explore the theories behind it. The class will navigate from the discussion of parts of speech to that of Japanese culture from the viewpoint of schema.  This course focuses on, among others, learning the basic meanings of case particles (particularly "が," "を," "と," and "で") in relation to sentence structures. The aim is to achieve a complete understanding of the usage of these five case particles. Therefore, participants must attend from the first session. The course is designed for learners at Japanese grammar levels 2 to 4. Starting from the third session will be too late.			
Recommendation for Private Study	Students are expected to allocate two hours for class preparation and an additional two hours for reviewing the material covered in class.			
Textbooks	Handouts to be provided in class			
References	To be provided in class.			
Assessment Criteria	Small assignments 5% x 10 times, First Presentation 20%, Second Presentation 30%. Students who attend less than 70% of the classes will fail this course.			
Supplementary Information	Participation in group discussions is mandatory. The class is conducted <b>ONLY</b> in English, with explanations provided in Japanese as supplementary. <u>この授業は英語でしか行いません。</u> 日本語を母語とする学生には <b>Chat GPT</b> を使っての英語学習法の課外 <b>Zoom</b> セッションを実施するので当該学生は必ず参加すること。また、授業には <b>PC</b> を持参すること。			

Course Title	English Language Teaching in Japan			
Lecturer	ASO, Yuji	Faculty	Education	
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 3 <sup>rd</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg, 4 <sup>th</sup> Floor, Off TEL: 097-554-7949 Email: yuj		.jp	
Aims	The purpose of this course is to review the current state of English language education in Japan, reflecting on its historical development and considering the future direction it should take. It delves into the underlying philosophies behind English classes and testing in Japanese primary and secondary education, aiming to explore how English education in Japan can equip students with practical language skills and communicative competence.			
Learning Outcomes	Participants will be able to understand the theory and practice of English language education in Japan, learn the principles of curriculum and material development, analyze and evaluate existing language teaching and testing methods, and create language teaching and testing programs for non-native English learners.			
Content (estimate)	1. Guidance and Overview of English Language Education in Japan 2. Learning and Testing Vocabulary 3-6. Teaching and Testing of Listening, Reading, Speaking, and Writing Skills 7. Instructional Questioning 8. Feedback (Correcting errors in L2) 9. Sentence Combining in Writing 10. PPP & TBLT, Focus on Form, CAN-DO Lists 11. Evaluation and Making tests 12. Mock Lesson (Focusing on Mini-Discussion) 13-15. Research and analysis of teaching practices (in elementary, junior high, and high school classrooms)  【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 This course will heavily incorporate pair work and group activities to promote active learning, encouraging students to participate enthusiastically in classroom activities.			
Recommendation for Private Study	Prior to each class, students presentations etc. as required.	are expected	to complete assigned tasks and prepare	
Textbooks	We will not be using a textbook for this course; however, the reading and other assignments as well as handouts will be provided in class.			
References	Reference materials will be dist	ributed in class	as needed.	
Assessment Criteria	Active Class Participation (20%), Weekly Assignments (20%), Presentation (20%), Final Paper (40%); No final examination will be conducted.			
Supplementary Information	Participants will be working in pairs or small groups to create a presentation and an example activity using an assigned teaching approach. The default language used in class is English.			

Course Title	The Politics and Economics of the EU			
Lecturer	DAY, Stephen	Faculty Economics		
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 3 <sup>rd</sup> Period	
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 2 <sup>nd</sup> Floo TEL: 097-534-6676 Email: srday@		1	
Aims		nd contemporar	rs with an awareness and in-depth ry development of the European Union es; 3) Brexit	
Learning Outcomes	A) Facilitate the ability of learners to critically discuss and evaluate, in a cogent manner, the process of European integration (intergovernmentalism and supranationalism)     B) Familiarize learners with the key institutional actors of the EU and the role that they play within the EU's institutional architecture     C) Provide an ability to recognize the reasons that underpinned the UK's decision to leave the EU (Brexit)			
Content	1. Introductory overview 2-3. Historical background – building European unity from the ashes of WWII 4. What is the EU? What does it do? 5-6. Thinking about European integration - from an FTA to a political union 7-8. Dealing with Internal and External Challenges – the EU in the 2020s  Case Studies 9-10. EU Citizenship 11-12. European parliamentary elections 2019 and 2024 13-15. Brexit - what drove the UK's exit from the EU?  16. Final Exam  As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include quizzes, exercises in applying theory to real-world scenarios and evaluations of various types of media reports.			
Recommendation for Private Study	Michelle Cini and Nieves Pérez-Solórzano Borragán (eds.) (2022) European Union Politics, Oxford University Press (7 <sup>th</sup> Edition) (8 <sup>th</sup> Edition to be published in June 2025) 『EU――欧州統合の現在(第 4 版)』創元社。2020			
Textbooks	For beginners - John Pinder and Simon Usherwood (2018), <i>The European Union: a very short introduction</i> , (4th edition) Oxford: OUP			
References				
Assessment Criteria	Final assessment (70 percent)     Portfolio of work - quizzes, worksheets, classroom participation (30 percent)			
Supplementary Information	The determination to study the European Union (EU), via English, and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspapers, video and web-based material during the module.			

Course Title	Ethnographic Study on Rural Japan				
Lecturer	KUBOTA, Ryo Faculty Economics				
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 4 <sup>th</sup> Period		
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 4 <sup>th</sup> Floor, Office N TEL: 097-554-7730 Email: yuralria				
Aims	with arguments presented in acade yourself with typical socio-political ch	We examine various issues that related to life in the Japanese countryside. By engaging with arguments presented in academic papers focusing on the area, you will familiarize yourself with typical socio-political characteristics of the Japanese countryside and analyze the diverse activities people engage in to sustain their way of life in a holistic way.			
Learning Outcomes	` '		es to understand contemporary socio- nsive understanding of dynamics of the		
Content	WEEK1 Guidance WEEK2 Anthropological perspective on Culture WEEK3 Brief History of Japanese Countryside WEEK4 Depopulation and Aging WEEK5 Rural-Urban Mobilities WEEK6 Rural Tourism WEEK7 Mid-term Exam WEEK8 Local resources: Landscape and nature WEEK9 Local resources: Traditional or Invented customs WEEK10 Local resources: Local delicacies WEEK11 Local resources: Japanese Spirituality WEEK12 Local resources: Manga and Animation WEEK13 Local resources: Religious practices, or Traditional Festivals WEEK14 Presenting your final paper (1) WEEK15 Presenting your final paper (2) (Specific modes of teaching to enhance students' learning) You are asked to make a short presentation on the contents and argument of the reading assignment.				
Recommendation for Private Study	It is your responsibility to understand the content of reading assignment prior to each class and to be ready for the 3 min presentation and the following discussion.				
Textbooks	Reading assignments and suggested readings will be uploaded on Moodle.				
References	Additional materials will be provided and distributed via Moodle.				
Assessment Criteria	Assignment (25pt), Contribution to d	iscussion (25pt	), Mid-term (20pt), Final paper (30pt)		
Supplementary Information	English is the primary language of instruction in this class. Supplemental explanation in Japanese is not provided during the class. A strong willingness to study various issues in English and to actively participate in discussions with your classmate are minimum requirements.				

Course Title	Introduction of Mechanical Engineering			
Lecturer	FUKUNAGA Michihiko, IWAMOTO Mitsuo, ODA Kazuhiro, TANOUE Kimitoshi, HAMAKAWA Hiromitsu, RYU Takahiro, HASHIMOTO Jun	Faculty	Science and Technology	
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesdays 5 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Science & Engineering Bldg. 9, 2nd TEL: 097-554-7800 Email: fukunag			
Aims	introducing various fields within the	discipline thro manufacturing	the role of mechanical engineering by ugh practical examples. Students will machines and reflect on the role of an civilization.	
Learning Outcomes	and energy-efficient machines and s	tructures.	equired for designing safe, functional, played by various industrial machines	
Content	The following topics will be covered, with each topic typically spanning two sessions. The order of topics will be explained during the first session:  (1) Heat Transfer: Understanding heat conduction. (2) Strength of Materials: Understanding the strength of materials used in machines. (3) Thermal Engineering: Understanding heat engines. (4) Fluid Mechanics: Understanding the mechanics of fluids. (5) Mechanical Dynamics: Understanding the dynamics of structural vibrations. (6) Mechanical Design: Understanding design and manufacturing processes. (7) Combustion Engineering: Understanding combustion processes related to mechanical engineering.  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will submit reports related to the course content, enabling the instructor to assess their understanding and adjust future lesson plans accordingly. Questions and comments from students will be welcomed throughout the course.			
Recommendation for Private Study	Pre-class preparation: Students are encouraged to read articles related to mechanical engineering in industrial or general newspapers to familiarize themselves with relevant issues.  Post-class review: Students will enhance their reports using knowledge acquired during the lectures and review the provided handouts to solidify their understanding.			
Textbooks	Relevant handouts will be distributed	d as needed.		
References	Sugawara, Sugao, et al. Introduction to Mechanical Engineering. Sangyo Tosho. (ISBN: 978-4782840023)			
Assessment Criteria	Reports submitted after each lecture: 30% Midterm Examination: 35% Final Examination: 35%			
Supplementary Information	Students are expected to have a basic understanding of applied mathematics and physics, particularly mechanics.			

Course Title	Japanese Presentation Skill				
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 2 <sup>nd</sup> Period		
Lecturer's Office	Email: tosakayasumi@gmail	.com			
Aims	The aim of this class is to actively participate in discussions and to be able to accurately convey information and views in Japanese. Students will analyze content and develop the skills to speak logically. In addition, international students and Japanese students will deepen mutual understanding through group work.				
Learning Outcomes	To present a formal speed     To be able to talk logically     To collaborate and discus	and convincing			
Content	1. Orientation / Effective self-introduction 2. Discussion ①: Discussion method 3. Discussion ② 4. Presentation method 5. Preparation for presentation ① 6. Preparation for presentation ② 7. Presentation ① 8. Presentation ② 9. Speaking logically ①: Logical and persuasive way of speaking 10. Speaking logically ②: Discussing without removing the points 11. Debate method 12. Preparation for simple debate ① 13. Preparation for simple debate ② 14. Simple debate match ① 15. Simple debate match ② (Specific modes of teaching to enhance students' learning) In any activity, students not only perform self-evaluation and peer evaluation, but also discuss points for improvement within the group and deepen introspection. In addition, the				
Recommendation for Private Study	Students do weekly assignments. They carry out group activities outside of class for presentations and ensure sufficient preparation time.				
Textbooks	To be prepared and provided	d by the lecture	r.		
References	Chi no navigeta, Kuroshio, 2007 Koto-happyo to Toron no gijuts, Tokaidaigakushuppansha, 1995 Ronriteki de tadashii nihongo o tsukautame no gijutu to toreningu, Beret, 2013				
Assessment Criteria	Group discussion (20%), Presentation (30%), Debate (30%), Assignments (10%), Final report (10%)				
Supplementary Information	The maximum number of participants is 30. Intermediate and above Japanese learners can register for this class. Intermediate level learners must have knowledge of 500 kanji and 3000 words. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final debate match.				

Course Title	Japanese Linguistics I				
Lecturer	SAKAI, Mieko Faculty GAIA				
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 2 <sup>nd</sup> period		
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7516 Email: msaka				
Aims	This course aims at offering a basic overview of Japanese linguistics and showing how linguists analyze language. This course also provides beginning students with a solid grounding in basic Japanese linguistic concepts in the fields of phonetics, vocabulary, grammar, dialect, and so on.				
Learning Outcomes	To observe carefully in basic Jap vocabulary, grammar, dialect, an     To research and analyze an area	nd so on, and a			
Content	1. Overview 2. Japanese compared with other languages 3. Grammar 4. Phonetics: the sound of language 5. Phonetics: the sound of language 6. Phonology: the function and patterning of sounds 7. Contraction 8. Dialect 9. Mid term 10. Vocabulary 11. Phase 12. Grammarticalization 13. Accent 14. Group presentation 15. Group presentation and feedback  【Specific modes of teaching to enhance students' learning】  Students regularly exchange their ideas and opinions in group. They have to work with each other to collect examples and find language rules and characteristics.				
Recommendation for Private Study	Students will be assigned homework class.	on a regular ba	asis to consolidate the topic covered in		
Textbooks	Handouts to be provided in class.				
References	Tomohide Kinuhata (2023) Basics of Japanese Linguistics, Second Edition, Hituzi. Isao Iori (2012) Atarashii Nihongogaku Nyumon, 3A Network.				
Assessment Criteria	Mid-term exam 40%, Group project work 30%, Homework 20%, Class performance, etc. 10%.				
Supplementary Information	Since all course instruction class discussions will be conducted in Japanese, students are expected to have passed JLPT N1. Japanese students can take this course too. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.				

Course Title	Business Japanese Seminar 1: Current affairs I				
Lecturer	MIYAMA, Michisuke Faculty GAIA				
Credit	2	Timetable	Fall: Thursday 1 <sup>st</sup> Period		
Lecturer's Office	Email: shenshan@hotmail.com				
Aims	This course is for international and Japanese students. It aims to develop skills in reading and understanding crime, political, and financial articles published in newspapers. The course focuses on gaining an understanding of the characteristics of Japan's media information dissemination system, the relationship between the media and the government, and the reporting stance of the media.				
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to: (1) understand the paragraph structure of editorials on crime, political, and fiscal policy issues featured in Japanese newspapers, (2) comprehend the relationship between reporters in the social affairs department and law enforcement authorities, (3) understand the relationship between political reporters and politicians/bureaucrats, and (4) discuss the characteristics of Japan's media industry.				
Content	1. Orientation, Overview of Japan's Mass Media 2. Kisha Clubs 3. Event Articles and Opinion Articles 4. Characteristics of Crime Articles 5. Characteristics of Political Articles 6-7. Ideological Positions and Editorials 8. Economic Discussions in Editorials and the Ministry of Finance 9. Unbiased Reporting (Fuhen Futo Editing Policy) 10. Presentation 1 11. Japanese Political Parties and Their Fiscal Policies 12. Government Bond Issuance and Fiscal Crisis Theory 13. Project Proposal for Analysis 14. Workshop 15. Presentation 2  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The course consistently focuses on the current media landscape, regularly searching for timely developments in the media through internet searches, and aiming to provide students with a first-hand experience of the real-time dynamics of the media.				
Recommendation for Private Study	The course encourages students to establish the habit of reading news not only from Japanese media but also from media in other countries every day, fostering the daily discovery of the characteristics of Japanese media.				
Textbooks	Handouts to be delivered in class.				
References	Japanese dictionaries, other. To be i	instructed in cla	iss.		
Assessment Criteria	Participation (20%), Assignment (30% [8 times]), Presentation 1 (20%), Presentation 2 (30%)				
Supplementary Information	The course is also open to other inte	ernational stude	nts.		

Course Title	Business Japanese Seminar 2: Career development			
Lecturer	MIYAMA, Michisuke Faculty GAIA			
Credit	2	Timetable	Fall: Friday 1 <sup>st</sup> Period	
Lecturer's Office	Email: shenshan@hotmail.com			
Aims	This course is for international and will work towards developing and a through understanding and analyzi	cquiring speaki	ing and writing skills in business settings	
Learning Outcomes	By the end of the course, students will be able to (1) develop the ability to interpret economic conditions from basic statistical data, (2) gain an understanding of the current realities of Japanese companies, and (3) acquire foundational knowledge to find employment opportunities in Japan.			
Content	1. Overview of the course, Global and Japanese Economic Trends 2. Polarisation of Japanese Society 3. Japanese Companies with Global Influence 4. Thriving Industries in Japan 5. How to Choose Employment Opportunities 6. Japanese Perspectives on Labor 7. Preparation for a Japan Revitalization Project 8. Presentation of a Japan Revitalization Project 9. Job Hunting Process 10. Business Etiquette: <i>Keigo</i> 11. Interviews and <i>Hitogara</i> (Personality) 12. Writing a Resume 13. Dining Etiquette 14. Positive Thinking and Expressing Gratitude 15. Speech Presentation (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The course will enable students (1) to grasp the current state of the Japanese economy through easily understandable statistical data, (2) to visually understand the characteristics of contemporary Japanese society with the aid of YouTube videos and other visual materials, and (3) deepen comprehension of issues in the Japanese economy by proposing a Japan Revitalization Project. Also, through discussions, the course will empower them to			
Recommendation for Private Study	Students are encouraged to independently conduct research on companies exploring survival through niche specialization. Every society has its bright and dark sides. The course encourages them to actively learn from Japanese companies and artists who shine amid economic challenges.			
Textbooks	Handouts			
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.			
Assessment Criteria	Participation (10%), Assignments (40%), Project Presentation (25%), Speech Presentation (25%)			
Supplementary Information	The course is also open to other st	udents.		

Course Title	Manga Studies		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 3 <sup>rd</sup> Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Offic TEL: 097-554-7953 Email: nag		
Aims	important perspectives on quest course, we will examine a variet	ions concerning Japa ty of Japanese mang , within both the Jap	nanga culture provides various anese society and culture. In this a genres and discuss the socioanese and global contexts. The nga genre will also be analyzed.
Learning Outcomes	<ol> <li>Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures.</li> <li>Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture.</li> <li>Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular).</li> </ol>		
Content	1) Orientation 2) Japanese "Soft Power" 3-5) Theoretical Perspectives on Manga Drawing (1)~(3) 6) Analysis of Shōnen (boys) manga 7) Analysis of Shōjo (girls) manga 8) Analysis of Ladies' Comics 9) Analysis of Boys' Love Manga 10) Data-Based Consumption and Manga 11) Censorship and Manga 12) Racial Issues in Manga 13) Analysis of Yuri Manga 14) Globalization and Manga 15) Review (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Social Networks and Introduction of Oita to the World II			
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty GAIA		
Credit	2	Timetable	Fall: Mondays 4 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office N TEL: 097-554-7635 Email: keizo-r	lo.3-5 nanri@oita-u.ad	c.jp	
Aims		p effective onli	saki and Yufuin through blogs and ne communication skills. At the same can work effectively in group settings.	
Learning Outcomes	In this course, participants will learn the following through discussions: (1) Basic knowledge for maintaining a safe internet experience, (2) Fundamental knowledge of Rokugō-Manzan culture and the history of Yufuin's development, (3) How to start a blog, (4) How to use Wix for website creation.  By the end of the course, participants will acquire a foundational understanding of disseminating information on the internet. During two field trips, participants will also examine the current state of the tourism industry in Kunisaki City and Yufuin. Insights gained from these trips will be compiled into a final report to be submitted.			
Content	Session 1: Orientation, making connections, course summary 1 Session 2: Basics of the internet, course summary 2 Session 3: Starting a blog, course summary 3 Session 4: Introduction to Rokugō-Manzan culture, course summary 4 Session 5: Preparation for the field trip, discussion on blog content Session 6: Field trip 1 (planned for the Kunimi area in Kunisaki City) Session 7: Blog presentation (Presentation 1) Session 8: Starting a website with Wix, course summary 5 Session 9: Further exploration of Rokugō-Manzan culture, course summary 6 Session 10: Field trip 2 (planned for the commercial area of Yufuin), course summary 7 Session 11: History of Yufuin Session 12: Website structure and group discussion Session 13: Website presentation (Presentation 2)  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class takes the form of group discussions. Each group has a chairperson and a secretary, both of whom act as summarizers for the group. The chairperson and secretary confirm the understanding of the class content by all group members, and the summary of the class content is submitted as homework the following week. Each group presents the			
Recommendation for Private Study	class shares the investigated topics of Three hours of preparation and three		w are required.	
Textbooks	Handouts to be provided in class			
References	A list of references to be delivered in class			
Assessment Criteria	Class summaries (10%), field work (1 <sup>st</sup> 10%, 2 <sup>nd</sup> 10%), a blog presentation (20 marks), a website presentation (20%), the final report (25%). If attendance is less than 70%, the student will be considered as failing, and the points for fieldwork and the final report will be excluded from the total score.			
Supplementary Information	The classes are conducted in both Japanese and English, with Japanese being the primary language. Attendance for the two field trips is mandatory, and participation in one field trip is equivalent to two class sessions.			

Course Title	Introduction to Japanese History, Culture and Society			
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	GAIA	
Credit	2	Timetable	Fall: Wednesdays 4 <sup>th</sup> Period	
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) Bldg., 3 <sup>rd</sup> floor, Office No. 3-4 TEL: 097-554-7953 Email: nagaike@oita-u.ac.jp			
Aims	This is an introductory course designed for international students to acquire basic knowledge of Japan (history, culture, and society). In this course, we will attempt to understand the kinds of ideological concept which are required to cultivate intercultural communication within Japanese socio/cultural context; this will mainly involve discussing such issues as Japanese ways of thinking, the structure of Japanese society, and so forth.			
Learning Outcomes	Becoming familiar with Japanese history     Understanding the specific nature of Japanese society and culture     Discussing the socio-cultural situation in contemporary Japan, based on our understanding of pre-modern Japan			
Content	1) Orientation 2~4) History of Japan 5~7) The Analysis of Japanese Society and the Psychology of Japanese People (honne and tatemae, uchi and soto, giri, shudanishiki, senpai and kohai, amae, etc) 8) Family and the Concept of Ie 9) Japanese Companies and Labor Relations 10) Nationalism and Imagined Community 11) Multiculturalism (e.g. issues of Ainu people) 12) Japanese Pre-modern Literature and Aesthetics 13) Japan in Asia and in the World (e.g. issues of Yasukuni Shrine) 14~15) Group Project (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.			
Assessment Criteria	Participation: 20% Quiz: 20% Group Project: 20% Examination: 40%			
Supplementary Information				

Course Title	Introduction to Global Studies		
Lecturer	DAY, Stephen	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 3 <sup>rd</sup> Period
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 2 <sup>nd</sup> Floor, Office No. 2-1 TEL: 097-534-6676 Email: srday@oita-u.ac.jp		
Aims	The purpose of this module is to provide learners with an historical and contemporary awareness of global political and economic issues since 1945. Whether for good, or for ill, we cannot escape the impact of such issues. Through the lens of political science, we will analyze and evaluate the world around us as we grapple with questions such as: 1) How might we explain globalization? 2) Is the world entering a period of heightened risk and uncertainty? 3) Can the rise of populist political parties be best explained as a reaction to globalization? For more than 40 years globalization has dominated our lives. Are we now witnessing the start of something different?		
Learning Outcomes	A) Familiarize learners with the key debates surrounding globalization and provide the means to assess and comment upon those debates in a critical and lucid fashion  B) Enable learners to articulate the pros and cons of globalization by drawing together some theoretical and real-world experiences  C) Enable learners to evaluate, make connections and comment upon the impact and consequences of global issues in a cogent and concise manner		
Content	1. Introductory overview 2. SDG-16 3-4. Drawing upon Three perspectives - hyperglobalists, sceptics, and transformationalists 5-6. Remembering the Cold War 7-8. Political and economic developments 1945-1989 9. Revisiting 1989 – the end of history? 10. Are we witnessing the end of western dominance? 11. Thinking about important political and philosophical issues from the movies 12. Case study – Borders and identity in the 21st century 13-14. Case study – Peacebuilding in Northern Ireland 15. Case study – Accounting for the electoral rise of populism 16. Examination As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include quizzes, crosswords, evaluating a range of media reports, and exercises in applying ideas to real-world scenarios.		
Recommendation for Private Study	Manfred B. Steger and Paul James, Globalization Matters: Engaging the Global in Unsettled Times, Cambridge University Press, 2019		
Textbooks	For absolute beginners I would recommend Manfred B. Steger (2023), <i>Globalization: A Very Short Introduction</i> , (6th edition) Oxford: Oxford University Press		
References			
Assessment Criteria	Final Assessment (70 percent) Portfolio of work - quizzes, worksheets, classroom participation (30 percent)		
Supplementary Information	Learners will be expected to have a determination to study in English and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspaper, video, and web-based material during the module.		

Course Title	Economics of Globalization and Sustainability		
Lecturer	SHIBATA, Shigeki	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Fall: Fridays 3 <sup>rd</sup> Period
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 4 <sup>th</sup> Floor, Office No. 419 TEL: 097-554-7715 Email: sshiba@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this course is to give students a series of basic knowledge regarding sustainable development in the global economy		
Learning Outcomes	At the end of the course, students should have  1. Obtained basic knowledge regarding sustainable development in the global economy  2. Become capable at evaluating economic policies in this domain.  3. Improved their ability to make presentations and participate in discussions.		
Content	This course will concentrate on analyzing and explaining sustainable development in the global economy while reading textbooks.  1. Concepts of global economy and sustainable development 2. Development of global economy 3. Sustainable Development by reading case studies (some articles)  Students need to read assignments and prepare presentations (twice per semester).  (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course emphasizes students' participation in classes (presentations and group discussions).		
Recommendation for Private Study	To be provided by lecturer based on students' interests		
Textbooks	To be provided by lecturer		
References	To be provided by lecturer		
Assessment Criteria	Attendance and participation: 50% Power-point presentation: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Japanese Management and Sustainable Development Economics		
Lecturer	YU, Songping	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Fall: Thursdays 5 <sup>th</sup> Period
Lecturer's Office	Faculty of Economics Bldg., 4 <sup>th</sup> Floor, Office No. 415 TEL: 097-554 7711 Email: yusongping@oita-u.ac.jp		
Aims	The objective of this course is to grasp knowledge of Japanese business and management.		
Learning Outcomes	<ol> <li>Learn about the history, characteristics, and challenges of businesses and management in Japan.</li> <li>Learn to analyze real-world business issues through case studies.</li> <li>Enhance the ability to communicate business and management related topics clearly and persuasively.</li> </ol>		
Content	Week 1: Introduction to Japanese Business and Management Week 2: Historical development of the Japanese economy and management Week 3: Structure and theory of Japanese firm Week 4: The Japanese work environment (1) Week 5: The Japanese work environment (2) Week 6: Debate Activities Minority in Japanese Workplace (1) Week 7: Debate Activities Minority in Japanese Workplace (2) Week 8: Interaction and communication: Knowledge management and strategic management Week 9: Entrepreneurship in Japan Week 10: The Japanese market (1) Week 11: The Japanese market (2) Week 12: Case presentation (Example: Paypay; Mercari, etc) Week 13: Case presentation Week 14: Case presentation Week 15: Summary		
Recommendation for Private Study	Basic knowledge of management, and interest in case analysis will be expected.		
Textbooks	Haghirian, P. (Ed.). (2021). Japanese Management: Market Entry, Crisis and Corporate Growth. World Scientific.		
References	Haghirian, P. (Ed.). (2016). Routledge handbook of Japanese business and management. Routledge.		
Assessment Criteria	Report (30%), Final presentation (40%), Active Class Participation (30%)		
Supplementary Information	The class plan is subject to change according to the number of participants.  Students will be organized into teams.  Teamwork will consist of your team's (or personal) presentation of business cases (at most 2 cases) and one report of an assignment case.  Copies of reading assignments will be distributed.		

